

九州地区大学図書館協議会誌

第 60 号

2017

九州地区大学図書館協議会

目 次

【巻 頭 言】

スポーツ文化のさらなる発展のために

—鹿屋体育大学附属図書館管轄「NIFS ギャラリー」からの発信—

・・・・・・・・・・・・・・・・山 田 理 恵・・・・・・ 1

【寄 稿 論 文】

寄稿者無し

【図 書 館 紹 介】

聖マリア学院大学図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

西南学院大学図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

【加盟館ニュース】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

【図書館活動報告】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

【事務局報告】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

【協議会総会記録】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

【資 料】

九州地区大学図書館協議会会則・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則・・・・ 57

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則・・・・ 58

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規・・・・ 62

九州地区大学図書館協議会表彰規程・・・・・・・・・・・・ 62

研修会の補助に関する申合せ・・・・・・・・・・・・・・ 67

副幹事館の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について 69

加盟館一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

役員館一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75

総会当番館一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79

スポーツ文化のさらなる発展のために —鹿屋体育大学附属図書館管轄「NIFS ギャラリー」からの発信—

山田 理恵（鹿屋体育大学附属図書館長）

近年、教育、健康づくり、産業、政策、ツーリズム、環境、開発、国際交流など、体育・スポーツとそれをめぐる諸現象への関心や効用への期待は多様であり、また倫理的問題も山積しています。体育・スポーツの現状と課題に対する提言者として、また体育・スポーツの発展のためのリーダーとして、今日の体育・スポーツを取り巻く課題にどのように取り組み何を発信することができるのか、そして、体育・スポーツのさらなる発展をどのように導くことができるのか。それは、日本で唯一の、博士後期課程を有する国立の体育系大学である鹿屋体育大学の教育・研究に求められるものでもあります。

そのようななか、本学では、2011年開学30周年を機に、大学会館2階と大学院棟エントランスホールの2カ所に、「NIFS ギャラリー」（NIFS：鹿屋体育大学の英語名の略称）を設置しました。管理・運営は、附属図書館の管轄になっています。ギャラリーの構想は、筆者が学内プロジェクトでその設置を提案したことがきっかけとなり、開学30周年記念事業として実現しました。

「身心創造スポーツ科学」というテーマを掲げた当ギャラリーは、本学の教育・研究活動やオリンピック・パラリンピック関係の展示等を通して、スポーツの文化的意義と将来の体育・スポーツの在り方、体育・スポーツ科学への提言を発信することを趣旨としています。

教育・研究活動の歩みと現状については、

本学がどのようにスポーツ文化の発展に寄与してきたのかを、本学関係オリンピック、学生・卒業生・教職員の顕著な競技成績・研究業績、全学的プロジェクト、社会貢献活動などの展示資料を通して紹介しています。また、合宿等で本学を訪れた著名スポーツ選手のサインや企業のユニフォームなどの展示コーナーは、子どもたちの人気を集めています。

現在当ギャラリーでは、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの推進をコンセプトに、展示内容の充実を図っています。すでに、大会ポスター（レプリカ）、本学関係オリンピックのメダルやユニフォーム、グッズなどの展示、近代オリンピックを創始したクーベルタンの人物像やオリンピック・パラリンピック教育に関するパネル展示などを行って来ていますが、今年度は新たに、1964年の東京大会や日本で開催された冬季大会関係史料を展示する予定です。

学生および教職員にとって、自分が在籍している大学の歴史を振り返ることは、自分の専門性と独自性をどうとらえるか、ひいては「鹿屋体育大学の伝統」をどのように未来に継承していくか、ということを考えることにも繋がります。したがって、このギャラリーは、在学生のアイデンティティ教育に結びつくものでもあります。さらに、学外からの訪問者・来客、オープンキャンパス参加者、一般市民の方々への広報

活動になるとともに、スポーツ文化の地域への情報発信源としての成果も期待されます。

このように、スポーツ文化に関する情報発信と大学の広報活動という、両側面の役割をもつ当ギャラリーが図書館業務のなかに位置づけられているということは、図書館業務の新たな役割と価値、在り方を示すことにも繋がるといえます。

さらに、このギャラリーに、ラーニング・コモンズとしての機能を含ませ有効活用するための検討もスタートしました。教育機能としてのギャラリーの役割、ひいては図書館業務と教育活動との関連が、より強化されると考えられます。

本学「NIFS ギャラリー」における原本・実物を用いたビジュアルな展示史料が示しているように、紙ベースで保存される文献・史料の原本や実物は、保存・管理が適切になされれば、半永久的に残るものであり、紙質やインクの色、実物の素材感など、電子化された史料からは伝わることのない、当時の人々の息づかいやぬくもり、生活文化が伝わってきます。貴重な史料は、それ自体が、時空を超えて今日の我々に語りかけてくれます。そして、そのような貴重な史料を保存し提供できる図書館は、歴史を伝えるという重要な役割を担っているのです。

また、放送メディアやインターネットの普及など情報媒体が多様化し、情報があふれる現代社会のなかで、地球の反対側の情報はキャッチしていても自分が住んでいる地域のことにはあまり関心がない、という学生の声も聞かれます。地域の情報や郷土史料を提供することも、地域に根ざした大学附属図書館の重要な役割であるといえます。そのためにも、常に学生や地域の利用者のニーズに耳を傾け、学生や地域の利用者のみなさんとともに、充実した図書館を築いていきたいと考えています。



「NIFS ギャラリー」(大学会館2階)の風景
(筆者撮影)

図 書 館 紹 介

【聖マリア学院大学図書館】

はじめに

聖マリア学院大学の前身は、昭和 48 年に設置された聖マリア高等看護学院（聖マリア病院付属）で、昭和 51 年には聖マリア学院看護専門学校と名称を変更し、昭和 57 年に聖マリア学院短期大学（学校法人聖マリア学院付属へ変更）となり、平成 18 年 4 月に 4 年制大学として開学いたしました。以来、平成 22 年に大学院（看護学研究科）、平成 25 年には専攻科（助産学専攻）を併設し、現在に至っています。

図書館としては、大学院棟完成時にメディアセンターを設置し、無線 LAN 等の情報基盤を整備いたしました。平成 28 年 12 月には、新たに本学のシンボルとなるような図書館棟を建築するため、新図書館の建築工事が始まり、平成 29 年 9 月に完成、10 月より新図書館として開館いたしました。

施設概要

建物は、3 階建てとなっており、1 階はグループ学修が可能なラーニングコモンズ、2～3 階は個人で静かに学修するフロアと利用目的別に学修環境を整えました。収容可能冊数は、約 10 万冊、閲覧席数は 184 席になります。

また、教職員・大学院生に限り、24 時間開館を実施しています。職員が不在の夜間や日祝日でも図書館を利用できるようになりました。

図書館の地域開放も行い、18 歳以上の久留米市民や医療従事者などの受入を行っています。

図書館外観

上空から見ると西南に向かって本を開いたような形の設計となっており、窓枠が本のページのように見える印象的な建物となっています。



エントランスには、「聖マリア新生児・小児救急医療センター」より聖母マリア像および玄関に設置されていたレリーフを移設いたしました。



キリシタン時代に長崎にあったサンチャゴ病院の鐘（1612 年）をモデルとした鐘を「ミゼリコルディアの鐘」として製作し、図書館正面の塔に設置いたしました。ミゼリコルディアとは、「いつくしみ深さ」、「慈愛」を意味します。ミゼリコルディアの鐘は、本図書館の象徴ともいえます。

館内案内

【Our St.Mary's Heritage Gallery】

Our St.Mary's Heritage Gallery は、聖マリアグループの歴史とグループの遺産である“いっつくしみ深い医療と教育の実践”を確認する大切な空間です。



聖マリアグループの創設者である井手一郎先生の所蔵品を展示しています。

【1階ラーニングコモンズエリア】

可動式の机 10 台、椅子 30 席、ホワイトボード 3 台を設置。少人数から大人数まで各ニーズに沿ったグループ学修が可能です。

図書館内では、Wi-Fi の利用が可能。



【1階パソコン・視聴覚ブース】

デスクトップパソコン7台、貸出用ノートパソコン 10 台、プリンター1台、個人用 AV ブース 4 席、グループ用 AV ブース 4 席を設置。



【1階ブラウジングコーナー】

リクエスト図書などを展示。窓の外には緑が広がり、くつろげる空間となっています。



【1階ファミレス席】

少人数グループ専用の席です。(4グループ使用可)



【2～3階書架】

- 2階：医学・看護学を中心に配架。
- 3階：キリスト教、社会学、教育学など。



【2～3階個人学修室】

書架とはドアで仕切られており、個人で静かに学修することができるスペースとなっています。



(2階27席)

【2階雑誌架】

新刊の雑誌(約120タイトル)を配架しています。また、閲覧席として、机5台、椅子20席を設置しています。



(3階16席)

【2～3階キャレル席】

窓際には、キャレル席(2階24席、3階24席)を設置しています。



【3階個人研究ブース】

大学院生用として8席設置。教職員及び大学院生は、24時間利用することが可能です。



【3階貴重図書コーナー】

聖マリアグループの創設者である井手一郎先生の蔵書、キリスト教関連の資料及び美術書等を配架しています。



終わりに

学生を主体として多くの人々がこの図書館に集い、学びつづけることがきますように、今後も様々な取り組みを行っていきたいと考えております。

【西南学院大学図書館】

はじめに

2017年4月1日に西南学院大学の新図書館がオープンしました。恐らく初めて入館した学生たちは、旧図書館とは何か趣が異なっている、と感じたことだと思います。仲間同士で自由に会話ができたり、飲食できるスペースがあったり、とても活気に溢れています。従来の図書館は、研究テーマに関連する資料を探し、その資料を黙々と読み込む場所というイメージが強かったと思います。

近年、大学の授業は、受動的学修から能動的学修（アクティブ・ラーニング）へと質的転換が進んでいます。問題発見・問題解決型あるいは対話型の講義を通じて、学生の思考力、コミュニケーション能力を伸ばし、「知識を真に活用できる人材」を育成することを目指しています。

本学では2013年に新図書館建設委員会を発足させ、新しい図書館の建設に向け慎重に議論を積み重ねた結果、以下の4つの基本コンセプトをまとめました。これまでの図書館の基本的機能を強化しつつ、今大学に求められている新たな学修支援機能を備え、更には本学独自の知的空間を創造することを目指しました。

- ①学修・研究・保存の機能を強化した情報空間
- ②能動的学修と創造的対話を促進する交流空間
- ③知的刺激と想像力の解放を求めて集う遊戯空間
- ④過去を学び、現在を見つめ、未来を描く歴史空間

新図書館の概要について

上記の基本コンセプトを具現化するために、新図書館では様々なサービスや設備機器を配置し、学生たちが主体的に情報収集や活発な議論を行える環境づくりを迫りました。

新・旧図書館の比較は、下表のとおりですが、

新図書館の特長は、大きく2つのゾーンに分かれていることです。まず1～3階を「アクティブ・ゾーン」と位置付け、1階にはプレゼンテーションスペースや多目的ホールを、2階には後述するラーニングサポートデスクやグループ学習室を、3階にはパソコン室（デスクトップ・パソコン160台）や視聴覚ブースを配置しています。学生たちのディスカッションや、グループ学習などのアクティブな活動を支援するための体制を整えています。

一方、4～6階は「サイレントゾーン」と位置付け、従来どおり静寂を保ち学修に集中できる閲覧空間を確保しています。また利用者にとできるだけ多くの資料に触れてもらうため、従来の閉架エリアを無くしました。自動書庫に格納している図書以外の資料は直接手に取って内容を確認できる機会を増やすことができました。

次に図書館の新たなサービスとして、2階にはラーニングサポートデスクを配置しています。例えば、レポートの作成時に、「文章の構成が決まらない」、「必要な資料が見つからない」「内容がわかりづらい、と言われた」など、学生の「困った」に大学院生や学部3、4年生が丁寧に対応します。ここではノートパソコン（50台）やタブレット端末（35台）の貸出も行っています。

更に、在学生アンケート（2013年当時）の中でも、特に要望が多かった「リラックスできる」「飲食ができる」長時間滞在型の図書館を目指し、1階にカフェを、また3階～6階の各階に飲食スペースを設けています。勉強の合間に、飲み物や軽食をとりながら疲れを癒すことができます。

終わりに

新図書館オープン後、半年が経過しましたが、入館者数は平均で旧図書館の1.5倍に達し、前期試験期間中には、1日の入館者が延べ6千人を超えたこともありました。後になって、「開館バブル」だったと言われないよう、上述のア

クティブラーニング機能の強化をはじめ、新図書館オープン後に新たに浮上した様々な課題を克服し、「西南の知の拠点」となれるよう図書館職員一同、努力していきたいと考えております。

○新・旧図書館の比較

	新図書館	旧図書館
規模	地上7階建	新館地上7階建、旧館地上5階建、積層書庫7層(5階相当)
延床面積	約12,000㎡	約11,000㎡
収蔵能力	約180万冊 (うち7階自動書庫約80万冊)	約120万冊
閲覧席数	約1,170席	約800席
グループ学習室	10室	4室
視聴ブース	16ブース	11ブース

館内案内

[図書館外観]



[1階 プレゼンテーション・エリア]



[1階 ディスカッション・スペース]



[2階 ラーニングサポートデスク]



[1階 多目的ホール]



[2階 グループ学習室 (大)]



[1階 カフェ]



[3階 視聴ブース]



[4階 専門雑誌コーナー]



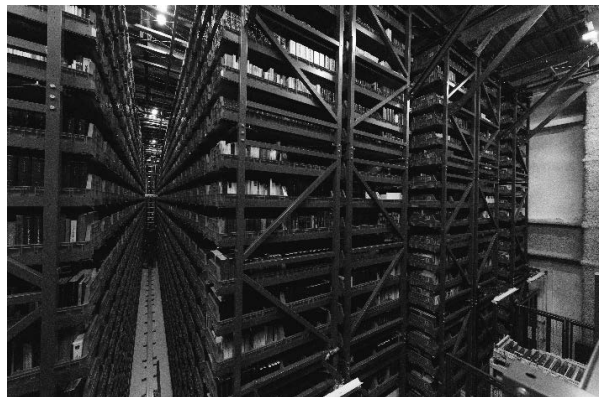
[3～6階 飲食可能な休憩コーナー]



[3～6階 閲覧席]



[7階 自動書庫]



[2～6階 電動集密書架]



加盟館ニュース（五十音順）

【大分大学】

企画展示

且野原図書館では、以下の企画展示を行いました。6月の企画展示では、開架書架で一度も借りられていない本に焦点を当て、全ての本に一言POPを作成しました。121冊中73冊(重複貸出数82冊)と6割の本が貸出されました。11月以降も展示を予定しています。

4月：入学おめでとう～新生活お手伝いします～

5月：B CAFE：読書会企画展示

6月：貸出ZEROの本～記念すべき1人目になりませんか～

7・8月：ジブリの大博覧会～ナウシカからマーニーまで～

8月：大人向けの読み聞かせ会 立体POP&展示

10月：ノーベル文学賞受賞カズオ・イシグロを読む

10・11月：オオイタをマナブ



ミニ企画展示

且野原図書館の児童図書コーナーでは、以下のミニ企画展示を行いました。

4月：春、眠りを誘う絵本

6月：～梅雨を楽しく！～

7月：「なつ、ぼうけん。」



ライティング・サポート・デスク

前期は7月3日（月）～8月8日（火）に行いました。25コマ中11名12件対応で48%の稼働率でした。

蔵書検索の詳細検索の使い方やデータベースの利用方法、レポートの構成など基本的なことを知らない学生も多く、今後も学部1・2年生へのサポートが不可欠だと感じました。後期も予定しています。

Sを目指すレポートの書き方講習会

7月上旬に①情報検索編と②出典と引用編を各2回行いました。

教員と図書企画係が講師を務め、延べ69名が参加しました。アンケートでは、「4月に図書館の利用についての説明がありましたが、憶えられなかったもので、これを機にたくさん活用していきたいと思います。」「レポートという未知な領域に対して、恐怖感しかなかったけど、今回の話を聞いて頑張ろうと思った。」との意見があり、参加した学生にとって有意義な講習会となりました。

他部署との取り組み

キャリア支援課や総務課等他部署がラーニング・コモンズやグループ演習室等図書館施設を利用する機会が増加していますが、今年度は国際交流課と連携し以下の取組を行いました。

(1)「トビタテ!留学 JAPAN」地域版募集へのサポート

「トビタテ!留学 JAPAN」地域版募集説明会をラーニング・コモンズで行う際に、図書館から各分野（観光関連ビジネス分野・半導体ビジネス分野・林業（建築・デザイン）関連ビジネス分野）に関する資料提供とレポート・論文作成についての資料を配布しました。

(2) ポスタージャック参加及び図書館ハッシュタグ企画「#ブンダイトビタテ」プレゼント

「トビタテ！留学 JAPAN」で行っていたポスタージャック企画に且野原図書館も参加しました。図書館北側窓側とカウンターの床にポスターを貼り、学生の興味を引く取組を行いました。また、コラボ企画として、「#ブンダイトビタテ」でSNSに投稿した学生にプレゼントする企画を行いました。応募した学生を国際交流課と共有し、「トビタテ！留学 JAPAN」への新規獲得に結びました。



学生協働の取り組み

昨年度、読書会に参加した学生から、図書館イベントの企画・運営を行ってみたいと希望があり、今年度、学生6名（以下「企画メンバー」）と、以下3つのイベントを企画・運営・実施しました。

(1) B CAFE（読書会）

第1回目は、5月17日（水）に行いました。2015年からあわせて4回目になりました。今回のテーマは、「芽吹く」。12月にも予定しています。



(2) 大人向けの読み聞かせ会

企画メンバーから「新たな企画を行ってみたい。」と提案があり、昨年2月に試しに行ったところ好評だったため、7月5日（水）に行いました。子どもの頃に読んだ絵本を持ち寄り、聞き手が絵本の読み聞かせを行い、読み手と一緒にシェアし合うイベントです。11月29日（水）にも予定しています。



(3) Library Hunting 消えた瓜生島伝説 ～沈みゆく瓜生島からの脱出～

且野原図書館改修5周年記念として脱出ゲームを行いました。期間は、10月16日（月）から大学開放イベントのある11月5日（日）まで行いました。

大分県の別府湾に沈んだとされる瓜生島をモチーフに、現代（2017年）から1569年へタイムスリップし大分の歴史を学びながら5つのチェックポイントの問題を解き、瓜生島から脱出するというゲームです。

職員が統括、キャラクターや宣伝動画作成を行い、問題やタイムスリップの作成は、学生が行いました。また、職員と学生でキャラクターの立体作品「えびつつあん」を作成しました。

全体の参加者は、257名、クリア数は189名でした。11月5日（日）の大学開放イベントでは、参加者152名、クリア数は150名でした。

開放イベントは、親子連れも多く、幼児、小学生の子どもが多いため11月5日（日）当日限定で、図書館資料を用いたヒントや、平仮名が書ければ解けるような工夫を行いました。

本学所属の学生・教職員には、ヒントを与えていなかったため、参加者数が112名中、クリア数が46名とクリア率が41%とやや難しかったようです。

アンケートには、「メッセージ性の強さに脱帽で

した。」「県民として初めて知ることが多かった。」
 「ヒントの出し方が知的。さすが大学。」と大分県の歴史を学んで欲しいという企画メンバーの思いが伝わる感想が多く見られました。留学生が日本人の学生と一緒に解いてクリアした例もあり、「チームワークの大事さを感じた。」という感想もありました。

企画メンバーも参加者からの嬉しい感想をもらったことで、やりがいを感じたとともに「今まで学ぶことができないことを学んだり調べたり自分自身のためにもなった。」という感想があり、企画メンバー自身のためにもなるイベントとなりました。



また、イベント期間にあわせて10月18日(水)のお昼休みにサックス、ドラム、ギター、コントラバス、キーボードによるジャズコンサートを行いました。参加者数は37名で、留学生も参加しました。

アンケートには、「演奏だけでなく、楽器の説明があつて、楽器にあまり触れたことがなかったので良かった。」「図書館で演奏会を聴けるというのは、とても新鮮で、普通のコンサートとはひと味違う演奏が楽しめました。」という感想がありました。



大学開放イベント

11月5日(日)の大学開放イベントで且野原図書館では以下4つのイベントを行いました。

- (1)Library Hunting 消えた瓜生島伝説 ～沈みゆく瓜生島からの脱出～
- (2)KENBUN を使おう！大分の歴史的・地域新聞ラッピングサービス
- (3)一般・娯楽雑誌の無償配布
- (4)多読で外国語を学ぶ！外国のえほん・manga を紹介

卒業生の方や、親子連れ、中学生、高校生などの参加者も多く、各イベントとも賑わいを見せていました。

【鹿児島大学附属図書館】

(1) 展示企画「地質時代別に見る三葉虫の世界」

を開催

鹿児島大学附属図書館展示企画「地質時代別に見る三葉虫の世界」を平成 29 年 8 月 21 日から 9 月 1 日まで開催した。

この企画は、本学法文学部卒業生の桑迫好和氏が十二の国と地域から収集した三葉虫を展示したものである。化石 50 点、化石のレプリカ、パネル及び中央図書館で所蔵する三葉虫に関する書籍約 50 冊を準備した。開催期間が夏休みという事もあり、通常は小・中・高校生は入館出来ないが、開催期間中は特別に利用可能とした。観覧した小学生は初めて見る三葉虫の化石にとっても驚いた様子だった。



(2) 図書館サポーター企画「図書館セレクション-本の福袋-」

図書館サポーター約 20 名が、図書の貸出促進のため、「図書館セレクション-本の福袋-」を企画し、平成 29 年 1 月 30 日より中央図書館にて、福袋の貸出を開始した。

この企画は、図書館サポーターが各自のテーマ別「2017 年恋したい女子へ」、「プレゼントしたいあなたに」、「働きたくなーい」に沿って選んだ図書館の本 (2~3 冊) をラッピングして、中身が分からないよう福袋にして貸出を行った。

貸出方法は、

- ① 展示ブースに置いてある気になるカードを選ぶ。
- ② 選んだカードと学生証をカウンターに提出。
- ③ 福袋と引換。

利用者からは、「どんな本が入っているかわからないのでワクワクして楽しい」と好評で、準備した 16 セットが 10 日間で無くなった。



(3) 「鹿児島大学デジタルコレクションをリニューアル公開

鹿児島大学リポジトリが JAIRO Cloud へ移行することとなったが、古典籍アーカイブはデータ仕様の関係から JAIRO Cloud へ移行できず、別システムで運用することとなった。

新システム構築にあたっては、継続性を重視しつつ、貴重な文化遺産を持続的・発展的に共有・保存していくためのフレームワークを構築することを目指した。

具体的には、搭載コンテンツの可視性やユーザの利便性を高めるべく、個別に提供してきたコレクション等を包含し、情報技術の進展にも対応できるシステムとした。

民間の外部クラウド専用サーバを使用することでデータ保全や職員の保守・管理の省力化を図り、タイトル・著者名の英語表記 (ロー

マ字表記) 記載により資料の国内外への発信を推進した。

今後は、国立国会図書館サーチとの連携や、本文画像の増加、高精細画像の提供等、鹿児島大学附属図書館が所蔵する貴重書のデジタルコレクションサービス提供を拡充していく。

鹿児島の貴重な資料をぜひご覧いただきたい。



「鹿児島大学デジタルコレクション」

URL : <https://dc.lib.kagoshima-u.ac.jp/>

【鹿屋体育大学】

1. 企画展示

新年度4月には、新入生向けに大学での勉強法、レポートの書き方などを紹介した「大学生におすすめの本」、夏休み中の読書の参考に、「2017年本屋大賞受賞作」企画として、1位から10位までの作品を購入、展示するなど季節や学内行事等に沿った企画展示を行った。

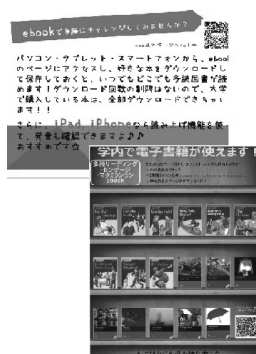


2. 資料およびサービス提供の向上

(1) 海外留学や海外での活躍を考える学生が、英語で自分のスポーツ種目について説明する際の参考にもできるよう英語多読書用資料として、各種スポーツの入門書を購入した。

(2) タブレット端末必携化という好環境を生かしてe-bookの利用推進に取り組んでいる。その一環として、学内での利用に加えて、学外からの利用ができることや携帯端末によっては読み上げ機能が利用できること

などを紹介した。



3. 閲覧室の改善

経年劣化が見られた閲覧室窓ガラスの紫外線防止フィルムを張り替えた。また、閲覧室では飲食禁止としていたが、熱中症防止の観点から、蓋付きボトル等に限り持込みを許可することにした。



4. 図書館入口改修

2階への階段下のスペースは、狭いながらも学生の休憩等で利用されている。階段部分の下部が危険であったため、カバーを取り付け、利用者の怪我を防ぐようにした。展示ケースを撤去するなど、入口のスペースを見直し、ソファ等を設置する予定としている。

5. 図書館情報システム更新

平成30年2月より図書館情報システムの更新を予定している。クラウド上でセキュリティにも配慮したSaaS型システムとしている。また、機関リポジトリである鹿屋体育大学学術情報リポジトリも国立情報学研究所提供のJAIRO Cloud（共用リポジトリサービス）へ移行する予定である。

【九州大学附属図書館】

新中央図書館建物竣工

伊都キャンパスの新中央図書館は、9月29日に第2期工事が完了し、ダイナミックな吹き抜け空間と壁面書架を備えた建物が竣工した。

現在は、建物の一部を先行開館し、学内者限定でサービスを提供しながら資料の移転をすすめている。今後は、新規什器の導入や、箱崎キャンパスからの書架・閲覧席等の移設を開始する。

平成30年10月には、「いざなう(encourage)」「つなぐ(link)」「うみだす(create)」「はぐくむ(cultivate)」の4つをキーワードとし、九州大学の次の百年を担う図書館として全面開館する予定である。

移転に関する情報、新中央図書館の建設状況・資料移転の様子は、Instagram/Facebookで発信している。

<https://www.instagram.com/kyushuunivlib>

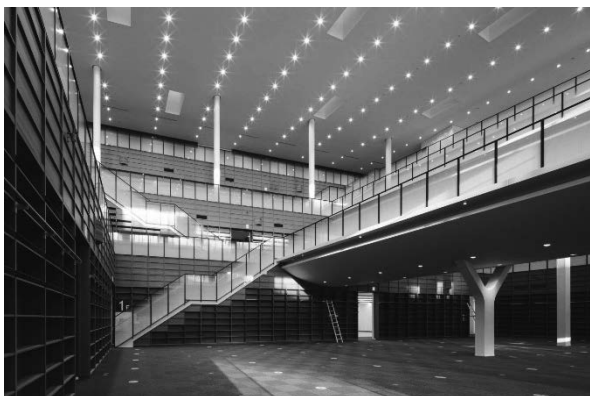
<https://www.facebook.com/kyushuunivlib>



建物外観



ダイナミックな吹き抜け空間



壁面書架に囲まれた閲覧席

写真展「ありがとう箱崎キャンパス」を開催

中央図書館では、大学文書館・文学部との共催により、平成29年10月から写真展「ありがとう箱崎キャンパス」を開催している。

2018年秋、キャンパス移転の完了に伴い、九州大学箱崎キャンパスは閉校する。本写真展は、その百年余の歴史と営みを写真で振り返るもので、2018年7月末の中央図書館閉館までの間、会期を7回に分け各回30～40点の写真を展示する。九州大学創設期から戦前戦中戦後にかけての移

り変わりや、キャンパスの日常風景、1968年の米軍機墜落に端を発した紛争など、多くの人が学びあい時を紡いできたキャンパスの様々なシーンを映し出す内容となっている。

会場には、学生・教職員のOBや地域の人々が日々訪れ、じっくりと写真を眺めては往年の箱崎キャンパスに想いを寄せ、当時の思い出などをメッセージとして残してくれている。

写真展
ありがとう
箱崎キャンパス

会期 2017年10月1日(日)～2018年7月31日(火)【全7回】
平日：8:00～22:00 土日祝日：10:00～18:00

会場 九州大学中央図書館3階(福岡市東区箱崎6-10-1)

主催：九州大学 中央図書館・文学部 協賛：九州大学文学部歴史編集室
お問い合わせ：九州大学中央図書館 庶務課
tel. 092-642-2533 e-mail: touairyuu@jims.kyushu-u.ac.jp
https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/event/hakozaki

入場無料

教育の国際化に対応した学修支援環境の構築 —アクティブ・ラーナー育成を推進する次世代の 大学図書館をめざして—

教育改革の推進を目的とした学内プログラム「教育の質向上支援プログラム(Enhanced Education Program: EEP)」に、附属図書館のプロジェクト「教育の国際化に対応した学修支援環境の構築—アクティブ・ラーナー育成を推進する次世代の大学図書館をめざして—」が採択されて3年目を迎えた。

本プロジェクトは、平成27年度から29年度までの3年間に渡り、様々な取組を通じて、グローバル化の観点から附属図書館全体の学修・教育支

援体制を再構築していくものである。図書館 TA (Cuter) による学習支援活動など、本プロジェクトは学内で高い評価を受けており、2年目の平成28年度も中間評価で最高評価Aを獲得した。最終年度である3年目は、これまでの総括とし

【九州工業大学】

脱出ゲーム『ライブラQ』

図書館ガイダンスと並ぶ新入生向け企画として、謎を解きながら館内を巡り図書館の資料と使い方について学ぶ脱出ゲーム『ライブラQ』を開催した。前年度の脱出ゲーム『消えた文豪を探せ』に参加した在校生も楽しめるよう、新たに「館内に散らばるシールを集めて絵を完成させる」という趣向を盛り込んだ。参加者からは「すごかった」「楽しかった」「おもしろかった」など、多くの好評価をいただいた。また「書庫に初めて入った」という声もあり、新入生だけでなく在校生にも図書館を再発見してもらう良い機会となった。



イベント「Presentation without Jargon」

6月に、図書館の学生サポーター（ラーニングコモンズサポーター：LCS）によるイベント「Presentation without Jargon -Share Your Knowledge-」を開催した。これは、自分の専門分野を専門外の人に分かりやすく説明することによって、他分野との隔たりを低減し、分野間の交流を図ることを目的とした英語プレゼンテーション

で、外部評価を導入するとともに、国際化をキーワードに、学生協働の展開、コンテンツ整備体制の構築、図書館利用教育の拡充などをさらに推進している。

イベントである。

当日は、5人の発表者が英語でプレゼンを行い、専門用語（Jargon）や説明抜きでの略語（Abbreviation）を使用しないという制約がある中、いかに分かりやすく聴衆にプレゼンできるかを競った。参加のあった18名からは発表者への活発な質問もあり、盛況のうちに終了した。

後日、参加者による5段階評価を集計して、平均値・標準偏差・最大最小値をコメントと共に各発表者にフィードバックし、今後の英語プレゼンテーションの向上に役立ててもらった。



選書ツアーと展示プロデュース

8月に、学生による選書ツアーをジュンク堂書店福岡店にて実施し、学生・院生合わせて8名の参加があった。

選書ツアーに参加した学生には、選書だけでなく選んだ図書の展示をプロデュースするワークショップに参加してもらった。これは、学生自身でテーマを設定し、テーマに沿った図書を図書館

蔵書を含めてセレクトし、手書きのポップを付けて展示棚を作成するというワークショップである。

作成した展示棚は「選書ツアーセレクトブック」として展示コーナーに設置した。学生目線のラインナップが来館する学生の目を引いており、新刊だけでなく旧蔵書の貸出も増えている。



夏目漱石生誕 150 周年記念『夢十夜』プロジェクト

10 月半ばから 11 月にかけて、夏目漱石の名作短編小説『夢十夜』の十篇の夢物語のうち、最も

印象深い一篇を選んで、自由な感想やコメントを名刺大のカードに書いてもらう秋の読書イベント「『夢十夜』プロジェクト」を本館・分館共同で実施した。カードを集めて展示することで、さまざまな感想を共有し、読書家には新たな気づきを、普段小説を読まない人にはその魅力に触れるきっかけにしてもらうことを目的とした。原作は所蔵資料のほか青空文庫で読むことができるが、手に取りやすいよう十篇の夢物語をそれぞれ A4 の紙にプリントし配布したところ、本館・分館合わせて 2 週間で 30 件以上のコメントが寄せられた。



【熊本大学】

TA によるミニセミナー「くまぼんカフェ」を開催

図書館 TA（ティーチングアシスタント）3 名が自らの研究活動の一端を発表（以下のテーマ）することで学生の学びを触発し、図書館利用の活性化につなげることを目的に開催した。

- ・ 電子工学分野での国際学会への参加経験をはじめとする大学院での学び
- ・ 地域との産学連携企画
- ・ 熊本地震で被災した歴史資料のレスキュー活動

毎回発表内容は多岐にわたり、十数名ほどの学生と職員が参加し、活発な質疑応答もあり好評を博した。



「ロビー展示」

- ・ 学生選書祭
- ・ 世界の素敵！探してみよう
- ・ 「近世熊本城の被災と修復」そして今

学生選書を軸に学生からの要望、イベントを組み合わせたロビー展示を開催した。学生が手に取りやすいようにPOPを付け、飾り付けも工夫。華やかなコーナーができあがり、展示図書を借りていく学生が数多く見られた。



「学生主役の企画展」—明治時代の商売—開催

文学部安高研究室（日本史）の学生2名による研究成果、学術情報の発信を通じた地域貢献の一環として学生主体の企画展を開催した。

明治初期の商売について造酒屋「萬屋」（上益城郡甲佐町）の資料を中心に、販売ツールや経営状況などを紹介、展示した。色鮮やかな引札（広告）や給与支払・ツケ払いの詳細の記述の解説など現在と比較しながら、連綿と続く商業活動の実態がよくわかる大変興味深い企画展となった。



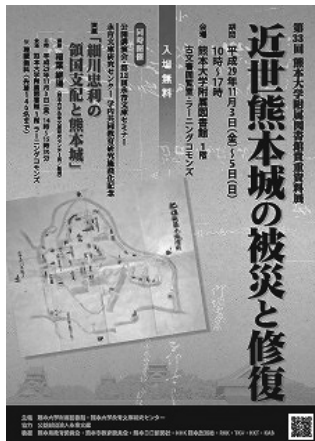
第33回貴重資料展「近世熊本城の被災と修復」、公開講演会/第12回永青文庫セミナーを開催

第33回目となる貴重資料展（11月3日～5日開催）では、細川家初代熊本藩主・忠利の城主時代（1632～1641）に着目し、寛永2（1625）年に起こった地震による熊本城の被災状況や修復への取り組みについて資料を展示した。

また、初公開の資料として藩主が参勤交代で江戸にいる時に藩が改易された場合に国元の家臣が城明渡しの判断根拠とした二つに切れた書状や包み紙、香箱を展示した。藩主と家臣がそれぞれ持ち、藩主の城明渡し指示を国元に出す証明として片方を国元に送って合致させるようにした資料。

3日には、稲葉継陽永青文庫研究センター長が「細川忠利の領国支配と熊本城」と題して講演を行った。忠利の藩政関係資料群を解説するとともに、「末端の役人までが公私を区別して権力行使を心がけるよう自ら模範を示し家臣達を説諭していた」と紹介された。

貴重資料展は、3日間を通して盛況であり、一般市民を含む400名を超える参加があった。



【佐賀大学】

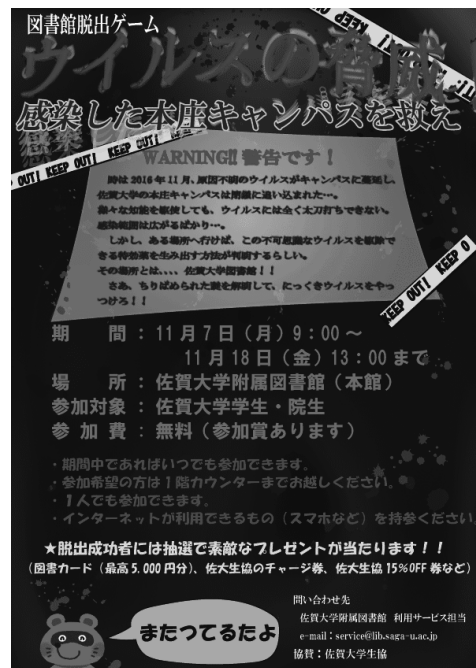
図書館脱出ゲームの開催

佐賀大学附属図書館（本館）では、平成 28 年 11 月に佐賀大学学部生・院生を対象とした図書館脱出ゲームを開催しました。

図書館脱出ゲームとは、図書館の中を探索しながら謎を解いていく体験型ゲームです。図書館に関心を持ってほしい、図書館をもっと活用してほしいという願いを込め、ゲームを楽しみながら図書館の本や設備、サービスなどを学ぶことができる内容を目指しました。

今回の脱出ゲームは、「ウイルスの脅威！感染した本庄キャンパスを救え」というタイトルとし、原因不明のウイルスが蔓延した本庄キャンパスを救うために図書館の中にちりばめられた謎を解明していくというストーリーとしました。

佐賀大学生協に協賛いただき、脱出成功者には、プレゼントを用意しました。



脱出ゲームのポスター

参加者数は 299 名、そのうち脱出成功者は 233 名と想定より多くの参加があり、大盛況となりました。グループで協力しながら解いたり、一人でじっくり解いたり参加スタイルは様々でしたが、みなさん楽しそうに挑戦してくれました。

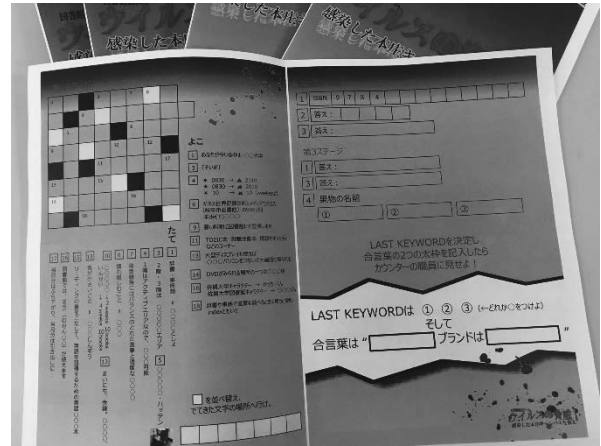


グループで協力しながら問題を解く学生



館内を探索しながら問題を解く学生

参加者へのアンケート結果によると、90%の学生が「図書館に対する理解が深まった」、「今後の図書館サービスの利用頻度が増える」と回答しており、図書館に関心を持ってもらうには効果的なイベントであったと考えられます。今後も今回のアンケート結果を参考に図書館の活用を促すようなイベントを開催していきたいと考えています。



脱出ゲームの問題

【長崎大学】

1. サービス業務の業務委託開始

4月より、中央図書館、医学分館、経済学部分館の全館でサービス業務の業務委託を開始した。これにともない、今までは平日夜間や休日には行っていなかった学外者の利用者証発行や私費の文献複写の料金徴収を開始し、平日昼間に近いサービスが可能になった。

2. Library Lovers' Nagasaki

昨年度から長崎県大学図書館協議会で開始した Library Lovers' Nagasaki の開催も今年で2

年目となった。九州地区で行ってきたノウハウを県内の大学で共有し、人手の少ない図書館の事を考慮し、できるだけ手間をかけないで楽しめるものを行うということで、今年も参加型ゲームを合同企画とした。公式キャラクターのクリアファイルの作成等県内の大学図書館と連携したイベントとなった。

今年は「英語でチャレンジ！ラリーはどこ！？」文字どおり図書館に関連する英語の問題を解いていくもので、開催期間中（10月17日～11月13

日)の参加者は中央図書館と分館で合わせて371名、クリア者111名だった。毎年楽しみにしているという学生も多く、図書館に親しんでもらう企画として定着してきた。



3. 企画展示

毎年、各館で多彩な企画展示を行っているが、今年はノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロ関連展示を中央図書館と医学分館、経済学部分館で同時開催した。



【中央図書館】

- ・本の福袋 (1月)
- ・学習相談員によるパスファインダー (1月～5月)
- ・教育学部図書委員推薦図書 (1月～6月)
- ・第51回展示 自分を変えたい (2月～3月)
- ・第52回展示 Welcome to 長大 (4月～5月)
- ・第53回展示 さあ、旅に出よう! (6月～7月)
- ・工学部図書委員推薦図書 (7月～)

- ・第54回展示 次に来るのはこの本 (8月～9月)
- ・土山秀夫元長崎大学学長・谷口稜暉氏 追悼特集 (9月～10月)
- ・PUZZLE & BRAIN (9月～10月)
- ・第55回展示 秋の夜長は文庫・新書 (10月～)
- ・カズオ・イシグロ氏ノーベル文学賞 受賞特集 (10月～)

【医学分館】

- ・息抜き本 (9月～10月)
- ・カズオ・イシグロと欧米文学 (10月～)

【経済学部分館】

- ・春にぴったりな本 (4月～6月)
- ・文学賞特集 (5月～6月)
- ・憂鬱を吹き飛ばせ!! (6月～7月)
- ・マンガでわかる! (6月～7月)
- ・Office を使いこなそう (6月)
- ・図書館マナーアップキャンペーン展示 (7月～8月)
- ・本の中で旅をしよう～travel books～ (8月～10月)
- ・戦争は続いている (8月～9月)
- ・長崎くんち展 (9月～10月)
- ・新しい気持ちで。 (9月～)
- ・カズオ・イシグロ展 (10月～)
- ・ライブラリーラバーズ公式キャラクターのお気に入り本 (10月～)
- ・謎解きの読書 (10月～)



4. 電子ブック利用促進

電子ブックの利用促進のため、ポスター、チラシ、学内一斉メールの配信等で、おすすめ電子ブ

ックを紹介し、また館内にはQRコードを印刷したアクセスカードを準備し、様々な広報活動を行っている。



【福岡教育大学】

1. 学生懇談会及び利用者アンケートの実施

平成28年12月、学術情報センターを利用している大学院生及び学生から参加者を募り、センター長との懇談会を実施した。10名の学生が参加し、図書館に対する意見や要望など活発な意見交換が行われ、今後の図書館を運営していく上で、とても有意義な会となった。

また、平成29年1月に大学院生及び学生を対象に利用者アンケートを実施した。現状の図書館運営に対して9割程度は好意的な評価であったが、様々な改善要望も確認出来た。

このようにして集めた利用学生の意見を元に館内サインの設置や温度の調整など環境改善を実施した。

2. 新入生歓迎イベントの実施

新入生に図書館を知ってもらうため、4月3日～28日にかけて謎解きゲーム「ヒーローの末裔を探せ！」を実施した。ゲームは参加者が図書館

5. 古写真展の開催、データベース公開

1) 出島表門橋架橋記念プレ企画展「出島橋と表門橋」

期間：8月18日～10月15日

会場：出島筆者蘭人部屋2階・十六番蔵2階企画展示室

2) 市内老人ホーム2ヶ所でのパネル展示(10月～11月) 2年目となる今年は、長崎の風景と日本の風俗の写真を展示した。

3) 所蔵する日本古写真「ボードイン焼損写真集」及び「ポッターアルバム」を高精細画像データベースで新たに公開した。(2月28日)

を巡りキーワードを集めることで答えが分かるようになっている。楽しみながら図書館を歩き回ることによって各施設及び図書の配置を知ることが出来るように作成している。



3. オープンキャンパス2017年の実施

7月22日(土)開催の大学オープンキャンパス行事として図書館ツアーと小学校教科書のミニ展示及び謎解きゲーム「ヒーローの末裔を探せ！」を実施した。

図書館ツアーでは職員が施設の使い方及び設

置の目的等の説明を行いながらラーニングコモンズ・貴重書庫等の各施設を40～50分程度で見学した。

小学校教科書のミニ展示では小学校4年生の教科書を教科毎に4冊（戦後に使用した教科書、保護者世代が使用した教科書、高校生世代が使用した教科書、最新の教科書）展示し、教科書の変遷を感じられるように実施した。

謎解きゲームは前述の新生歓迎イベントにて実施した謎解きゲームをオープンキャンパス用にアレンジしたもので今年は300名以上が挑戦し195名が正解した。参加者の感想は「難しいけど楽しかった」等概ね好評であった。

【図書館ツアーの写真】



4. 子ども図書室の活用

11月12日（日）開催の大学主催イベント「教育大へ行ってみよう！」に参加し、子ども図書室開室した。当日は延べ198人の子どもと保護者が来室し、各々が好きな絵本や児童書を手に取りゆったりと読書を楽しんでいた。また、本学の幼稚園教員を志す学生が企画する子ども図書室イベントを支援している。年間10回程度の開催があり、内容は園児を子ども図書室に招待し、絵本の読み聞かせの他に簡単なものづくりやゲームを行うものである。

【教育大へ行ってみよう！の写真】



5. テーマ展示

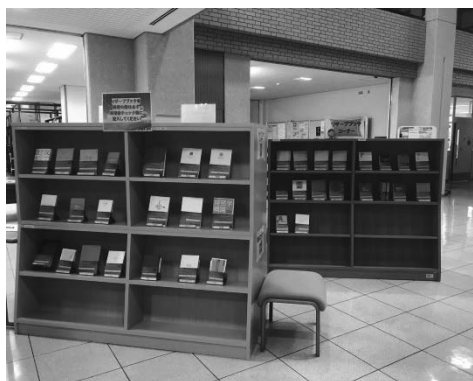
2～3か月毎にテーマを決めて図書を展示している。平成29年度は「新生活応援」、「沖ノ島」、「旅」、「まんが」をテーマとした。季節に沿ったもの、世間で話題となっているものをテーマとしtwitter等にて広報するなどして図書館に足を運ぶきっかけとなるように企画している。



【宮崎大学】

1. リザーブブック制度

教員が指定した授業やレポート課題関連図書を専用棚に一定期間展示し、館内限定で利用に供するリザーブブック制度を今年度も実施している。前学期は9科目46冊、後学期は8科目48冊をリザーブブックとして展示し、グループワークなどのアクティブラーニングの支援を図った。



リザーブブック展示の様子

2. 全国大学ビブリオバトル2017 予選会

10月26日、10月31日に全国大学ビブリオバトルの予選会を本館で開催した。両日ともにバトルの熱い思いに、会場は盛り上がった。



全国大学ビブリオバトル2017 予選会

3. 学生選書ツアー（第1回）

7月8日、市内の大型書店において学生選書ツアーを実施した。学生12名の参加があり、専門分野や興味のある本を選び、154冊を購入した。参加した学生からは、自分の好きな本を見つける

ことができ楽しかった、また参加したいなど、好評を得た。購入した本は学生の推薦理由などを添えて展示された。



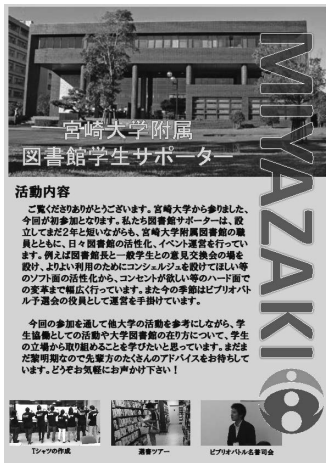
選書ツアーの様子



選書された図書の展示

4. 学生サポーター（図書館総合展）

宮崎大学附属図書館学生サポーターは今年度初めて、図書館総合展及び全国学生協働サミットに参加しました。全国の図書館にかかわる人々と交流することができ、大変よい刺激になりました。本館学生サポーターは正式に発足してからまだ2年目ですが、次回は壇上に立って活動をご報告できるよう、メンバー一同頑張ります。（文章作成：学生サポーター）



学生サポーターによる総合展当日のミニポスター展示

医学分館では、郷土の偉人「高木兼寛」についての企画展示を実施した。



本館展示「見て触れる古典」

5. 大学開放事業

「平成 29 年度みやだい WakuWaku 体験 Day」

11 月 18 日～19 日に大学開放事業が実施され、図書館の開放とともに、廃棄図書のリサイクル市を実施した。訪れた一般市民・学生・教職員へ図書や雑誌 約 500 冊を無償配布した。



本館 図書のリサイクル市

また、本館では「芥川賞・直木賞・本屋大賞 候補作・受賞作」及び「見て触れる古典」等の展示、

今年度から学生による研究発表の場として図書館の施設を開放し、4 団体が展示、発表を行ったほか、恒例となっているしおり工房も開催し、幅広い年代の地域住民に来館していただくことができた。準備・企画等に参加した学生サポーターの協力も得て、好評のうちに終了した。



書庫の階段を利用した学生による展示

【琉球大学】

グローバル・コモンズ津梁がオープン

平成 29 年 4 月、琉球大学におけるグローバル人材育成の拠点として、附属図書館本館 2 階にグローバル・コモンズ津梁がオープンしました。グローバル教育支援機構との連携の下、グローバ

ル化に関するイベント、授業、講演会、サークル活動等に活用されています。



マグネット対応のホワイトボード塗装柱で、留学情報等を情報発信



カラフルなカーペットにすることで、部屋の雰囲気を一変



可動式机・椅子と全面ホワイトボードで、アクティブなグループ学修が可能

EU 資料展を開催

琉球大学附属図書館は、EU 情報センターの指定を受けており、欧州連合（EU）関係の資料を収集し、研究者や一般利用者へ公開しています。5月9日は、ヨーロッパの統合を祝う「ヨーロッパデー」にあたることから、附属図書館では、例年この時期に、駐日欧州委員会代表部が主催する日本と欧州連合の友好イベントである「日・EU フレンドシップウィーク」の一環として、欧州連合（EU）に

関する理解を深めることを目的に「EU 資料展」を開催しています。

今年は、5月29日（月）から6月16日（金）までの約3週間、本館2階国際資料室において、EU 原加盟国の一つであるイタリアにスポットを当てた「EU 資料展 ～歴史と伝統の国イタリア～」を開催しました。

資料展では、イタリアの現況とヨーロッパ世界の形成に多大な影響を与えた古代ローマ時代の歴史的事件を中心に紹介するとともに、EU の広報資料を配布しました。



見学の様子

環境展を開催

国連では、1972年6月5日スウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、日本などの提案により、6月5日を「世界環境デー」として制定しました。

それを受け国内では、6月5日を「環境の日」と定め、環境庁の主唱により、6月の一ヶ月間を「環境月間」として全国で様々な行事が行われており、本学でもエコロジカルキャンパス活動として様々な取り組みが行われています。

その一環として、附属図書館でも、環境の保全についての関心と理解を深める目的で、所蔵する環境関連図書やポスターの展示を行う企画展を毎年開催しています。今年は、「環境展 ～my life, eco life～」をテーマに、6月26日（月）から7月30日（日）までの期間、関連資料や図書を展示しました。



展示会場

宮沢和史、平田太一両氏が来館

大ヒット曲「島唄」で知られるロックバンド元「THE BOOM」のボーカル宮沢和史氏による講演会が、6月28日（沖縄県図書館協会主催）と29日（琉球大学主催）の両日、琉球大学で開催されました。

宮沢氏は、近年は沖縄民謡の記録と伝承を目的とした「唄方（うたかた）プロジェクト」に、代表の平田太一氏とともに精力的に取り組んでおり、氏らが作成した17枚組のCD・BOX『沖縄 宮古 八重山民謡大全集（1）唄方～うたかた～』が本学へ寄贈されました。

29日には、宮沢、平田両氏による仲座附属図書館長への表敬訪問がありました。



琉球大学びぶりお文学賞ワークショップ「短編小説の書き方講座」を開催

平成19年度に創設された琉球大学びぶりお文学賞も、今年度で第11回となりましたが、文学賞

への応募喚起と、学生の創作意欲をより一層高めるため、沖縄国際大学総合文化学部講師の村上陽子氏を招聘し、7月13日（木）附属図書館ライブラリーホールにおいてワークショップ「短編小説の書き方講座」を開催しました。

今回のワークショップには、会場が満員となる多数の参加者があり、熱心に講義に聞き入っていました。また、質疑応答も非常に活発で、参加者の文学への関心の高さがうかがえました。



講義の様子

平成29年度九州地区目録講習会を実施

国立情報学研究所（NII）の研修事業であった目録システム地域講習会が一昨年度で終了したことに伴い、昨年度から九州地区国立大学図書館協会が主催となり、九州地区目録講習会を実施しています。

平成29年度は、琉球大学附属図書館を会場として9月14日（木）から15日（金）の2日間実施しました。主として図書目録業務を担当する九州地区の図書館職員20名が参加し、「目録情報の基準」や「コーディングマニュアル」などを参照しながら、総合目録データベースへの所蔵登録・書誌登録・書誌修正等、目録情報の入力業務について学習しました。目録作成に使用するツールについてのクイズを講習会開始前と終了後に実施したところ、終了後には正答率が大幅に向上し、講習会の成果が見られました。

図書館活動報告

宮崎県大学図書館協議会

1. 平成 28 年度宮崎県大学図書館協議会総会

日 時：平成 28 年 9 月 14 日（水）14:27～16:02

会 場：南九州大学・南九州短期大学図書館

（本館 2 階 会議室）

出席者：8 大学 19 名

議 事

(1) 平成 27 年度 決算報告及び監査報告について

(2) 平成 28 年度 事業計画及び予算について

(3) 協議事項：

宮崎県大学図書館協議会

ホームページの刷新について

(4) 承合事項：

① 図書館の開館時間、運営体制について

② ラーニング・コモンズに関する取組について

③ アクティブラーニングの取組について

④ 資料収集の状況について

(5) 次年度役員館について

2. 平成 28 年度宮崎県大学図書館協議会職員等 研修会

日 時：平成 28 年 12 月 15 日（木）14:30～17:00

場 所：宮崎大学附属図書館

3 階 視聴覚室

出席者：46 名

講 演：「地方学習拠点としての図書館の役割：

「ラーニング・コモンズ」をどう活かす
か？」

講 師：日向良和氏

（都留文科大学情報センター准教授）

福岡県・佐賀県図書館協議会南部地区研究会

【平成 28 年度 第 2 回研究会・総会】

日 時：平成 29 年 2 月 15 日（水）

会 場：国際医療福祉大学 福岡保健医療学部

1 号館大会議室

当番館：国際医療福祉大学

福岡保健医療学部 図書館

出席者：11 館（15 名）

議 事

1. 協議事項

(1) 平成 28 年度研究テーマについて

① 大学図書館職員としてのスキルアップのため
の研修について

(2) 平成 29 年度研究テーマについて

① 大学図書館職員としてのスキルアップ

② 本研究会の活動をより有意義なものとして
いくための方策について

2. 承合事項

(1) 紀要（研究報告書等）の英文校正について

(2) 卒業論文・修士論文・博士論文の保管と運
用について

(3) 教職員の貸出について

3. 講 演

演題：「リハビリテーションの世界」

講師：国際医療福祉大学言語聴覚科

学科長 深浦 順一 氏

4. 総 会
- (1) 平成 28 年度決算及び監査報告
 - (2) 平成 29 年度予算（案）
 - (3) 平成 29 年度幹事及び当番館の選出について
 - (4) 平成 29 年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会理事館・監事館について
5. その他
- (1) 平成 28 年度南部地区研究会のまとめについて

【平成 29 年度 第 1 回研究会】

- 日 時：平成 29 年 9 月 1 日（金）
 会 場：西九州大学佐賀キャンパス
 5 号館 4 階大会議室
 当番館：西九州大学短期大学部附属図書館
 出席者：13 館（16 名）
- 議 事
1. 協議事項
 - (1) 平成 29 年度第 1 回研究会研究テーマ

- ①大学図書館職員としてのスキルアップ講演
 後に各館の事例を踏まえた意見交換を実施した。

講演

- 演題：「発達障害のある、またはその可能性のある学生の図書館利用スキルについて」
 講師：西九州大学短期大学部
 幼児保育学科
 准教授 川邊 浩史 氏

- (2) 第 2 回研究会研究テーマ

- ①「図書館だより」の作成について

2. 承合事項

- (1) 選書ツアーにおける、選書する図書の内容や 1 冊の単価設定について
- (2) グループ学修室の「管理・運営」について
- (3) 地域開放について
- (4) 図書館の学生協働の企画について
- (5) 機関リポジトリの開設について

3. その他

- (1) 次期当番館の確認

九州地区私立短期大学図書館協議会

【2017(平成 29 年)年度総会】

- 日 時：平成 29 年 4 月 19 日(水)13:30~17:00
 場 所：ホテル セントヒル長崎
 4 階「グラバー」
 出席者：19 館 29 名

協議事項

なし

承合事項

- (1) 電子書籍の購入について
- (2) 図書館開放について
- (3) 「研究紀要」に関する図書館での業務について

講演

- 演題：「将来の図書館とは」
 講師：姫野 順一氏
 （長崎外国語大学 特任教授・長崎大学名誉教授・元長崎大学附属図書館長）

【2017(平成 29 年)年度夏期研修会】

- 日 時：平成 29 年 8 月 25 日(金)13:30~16:30
 場 所：久留島武彦記念館
 出席者：14 館 19 名

講演

- 演題：「久留島武彦の語りの世界 ―幼児教育における実践例を通して―」
 講師：金 成妍氏(久留島武彦記念館 館長)

私立大学図書館協会 西地区部会
2017（平成 29）年度 九州地区協議会総会

日 時：2017（平成 29）年 4 月 19 日（水）
14:00～16:40

場 所：ホテルセントヒル長崎

当番館：九州看護福祉大学

出席者：38 館 67 名

I. 報告事項

(1) 九州地区協議会関係

- ①2016 年度九州地区協議会及び決算報告
- ②第 1 回定例幹事会
- ③2016 年度九州地区研究会及び決算報告
- ④研究会準備委員会
- ⑤第 2 回定例幹事会

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

- ①第 68 回九州地区大学図書館協議会総会

(3) 西地区部会関係

- ①2016 年度西地区部会会務報告
- ②2017 年度西地区部会事業計画（案）及び
予算（案）
- ③2017 年度予算の暫定執行
- ④2017 年度西地区部会総会開催概要（案）
- ⑤2017 年度西地区部会研究会開催概要（案）
- ⑥西地区部会関連 2017 年度予定表
- ⑦役員校・当番校等一覧

(4) 私立大学図書館協会関係

- ①2016 年度協会会務報告
- ②2016 年度協会賞審査委員会・研究助成委員
会・国際図書館協力委員会・協会ホームペー
ジ委員会報告
- ③協会関連事項報告
- ④次期役員校、総会当番校の選出について
- ⑤第 78 回総会・研究大会の開催
- ⑥行事・会議予定

II. 協議事項

(1) 九州地区協議会関係

- ①九州地区協議会研究会について

②2017 年度以降の九州地区協議会役員校等
のローテーション表及び解説改正（案）に
ついて

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

- ①2017 年度九州地区大学図書館協議会の役
員校について

III. 承合事項

- (1) 図書館の一般開放について（純真学園大学）
- (2) 除籍した図書の有効利用について
（熊本学園大学）
- (3) 漫画本の受け入れについて（熊本学園大学）
- (4) ILL の学外利用者の受付について
（別府大学）
- (5) 学習コンシェルジュの利用促進について
（別府大学）

IV. 確認事項

- (1) 九州地区協議会 HP 及び ML の運用について
- (2) 外国新聞分担保存について
- (3) 九州地区協議会年度別幹事校
- (4) 本会関係行事・会議等スケジュール

V. その他

- (1) 2017 年度当番校・幹事校・役員校等の紹介

VI. 講演会

「大学生はなぜ本を探せないのか？探さない
のか？－司書課程教員の立場から大学図書
館教育に関わって見えてきたこと－」

講 師：沖縄国際大学総合文化学部
教授 山口 真也

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会
2017（平成 29）年度 第 1 回定例幹事会

日 時：2017（平成 29）年 6 月 2 日（金）

13:40～14:50

場 所：長崎国際大学 本部棟 1 F 多目的室

当番館：長崎国際大学

出席者：6 館 9 名

I. 協議事項

- (1) 2017 年度九州地区研究会の企画（案）について
- (2) 2017 年度九州地区研究会の予算（案）について
- (3) 2017 年度九州地区協議会（総会：私大部会）の協議事項について
- ①2017 年度以降の九州地区協議会役員校等ローテーション表と解説改正（案）について

②近年の繰越金増大による年会費等の見直し（総会・研究会）について

③ローテーション表における研究発表ローテーション校という名称変更について

(4) 次年度の九州地区協議会（総会：私大部会）での講演者推薦依頼について

(5) その他

II. 確認事項

- (1) 九州地区協議会年度別幹事校について
- (2) 九州地区協議会役員校等ローテーション表について
- (3) 次年度の九州地区大学図書館協議会総会の当番校について

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会
2017（平成 29）年度 九州地区研究会

日 時：2017（平成 29）年 9 月 8 日（金）

10:00～16:30

場 所：長崎国際大学 1 号館 1101 教室

当番館：長崎国際大学

出席者：34 館 47 名、業者 5 社 15 名

テーマ：図書館システムの昨今～システムの選び方・次期システムを見据えて～

I. 講演

「大学の教育現場におけるビブリオバトル普及の効用と可能性と問題点」

長崎国際大学大学院薬学科薬理学教授/図書館長
山本経之

II. 事例発表

- (1) 「リコーLIMEDIO のシステム移行と運用について」

日本赤十字九州国際看護大学図書館
図書係長 多川綾子

- (2) 「自主管理環境下での図書館システム選定について」

福岡大学総務部文書課（元図書館学術情報課）
司書 長尾猛

- (3) 「日本の図書館システムの変遷と本学導入システムの紹介」

長崎国際大学図書館 課長 飯島芳典

- (4) 「図書館システムの統一化を目指して
-学園に設置する 3 つの図書館-

志學館大学図書館 司書 権丈智美

パネルディスカッション〈質疑応答含む〉

座長 長崎国際大学図書館 課長 飯島芳典
+幹事校 3 校

意見交換会

佐世保市南風崎町 ホテルローレイ

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会
2017（平成 29）年度 研究会準備委員会（メール会議）

日 時：2017（平成 29）年 11 月 13 日（月）
～11 月 17 日（金）9:00～17:00

出席館：7 館 7 名

I. 報告事項

- (1) 2017 年度九州地区研究会について
①研究会開催記録
②研究会決算書（仮）

II. 協議事項

- (1) 2018 年度九州地区研究会について
①研究会実施要領（案）
②研究会開催通知（案）

III. その他

- (1) 2018 年度私立大学図書館協会西地区部会研
究大会の研究発表者について

福岡県・佐賀県図書館協議会

【平成 29 年度総会】

日 時：平成 29 年 5 月 26 日（金）
場 所：福岡女子大学地域連携センター
セミナー室 2
当番館：福岡女子大学学術情報センター
（図書館）

出席者：37 館（54 名）

協議事項

- (1) 平成 28 年度決算報告および監査報告
(2) 平成 29 年度事業計画および予算案審議
(3) 次期理事館及び監事館の選出について
(4) 福岡県図書館協会理事の選出について
(5) 福岡県・佐賀県大学図書館協議会会費管理
口座用共通印鑑の作成について

地区研究会報告

- (1) 北部地区
九州共立大学附属図書館

図書館情報課 副主幹 上井 由美子氏

- (2) 福岡地区
福岡工業大学附属図書館
図書館事務室 課長補佐 重松 亮氏

- (3) 南部地区
国際医療福祉大学九州地区キャンパス
図書館
図書司書 松永 稔史氏

承合事項

- (1) 貸出資料を延滞している教員への督促につ
いて
(2) アクティブ・ラーニング促進について

講 演

演題 「ラーニングコモンズ活性化のポイント」

講師 丸善雄松堂(株) 教育・環境ソリューション事業部事業管理部

飯田 健司 氏

鹿児島県大学図書館協議会活動報告

1. 第38回鹿児島県大学図書館協議会総会

日時：平成29年5月29日(月)15:00～17:00

会場：鹿児島国際大学附属図書館4階 地域
総合研究会議室

出席者：11館22名(オブザーバー館1館2名を含む)

協議事項

- (1) 平成28年度会務報告
- (2) 平成28年度決算報告及び監査報告
- (3) 平成29年度事業計画
- (4) 平成29年度予算審議
- (5) 協議題審議
機関リポジトリ担当者研修について
- (6) その他

2. 平成29年度第1回鹿児島県大学図書館協議会研修会

日時：平成29年12月4日(月)14:00～14:30

会場：鹿児島国際大学附属図書館4階
視聴覚ホール

内容：研修報告(研修名：第33回医学情報サー
ビス研究大会)

報告者：岩永眞佐子氏(鹿児島純心女子大学附
属図書館)

参加者：16名

3. 平成29年度第1回鹿児島県大学図書館協議会講演会

日時：平成29年12月4日(月)14:50～16:30

会場：鹿児島国際大学附属図書館4階 視聴
覚ホール

内容：「目録情報と図書館員に求められるス
キル：利用者と情報の架け橋になるに
は」

講師：高野真理子氏(NPO 法人大学図書館支
援機構副理事長)

参加者：25名

熊本県大学図書館協議会

1. 平成29年度熊本県大学図書館協議会総会

日時：平成29年6月7日(水)15:00～17:00

会場：熊本大学附属図書館2階会議室

出席者：14館23名

議事：

- (1) 平成28年度総会議事録の確認
- (2) 平成28年度事業報告について
- (3) 平成28年度収支決算並びに監査報告につ
いて
- (4) 平成29年度事業計画(案)及び予算(案)
について
- (5) 次年度世話館について
- (6) その他(照会事項等)
- (7) 意見交換会

2. 平成29年度熊本県大学図書館職員研修会

日時：平成29年9月8日(金)13:30～16:30

会場：熊本大学附属図書館グループ学修室

出席者：14館34名

① 基調講演：

「そのとき私たちができたこと
～東北大学附属図書館が遭遇した東日
本大震災～」

国立情報学研究所 学術基盤推進部
図書館連携・協力室長
小陳左和子氏

② 「熊本地震による図書館の被害と対応」に
ついて加盟館で意見交換

③ 全体での質疑応答及び意見交換

長崎県大学図書館協議会

1. 平成 29 年度総会

日 時：平成 29 年 7 月 3 日（月）

場 所：佐世保工業高等専門学校

出席者：11 館 21 名（外に長崎県公共図書館等協議会より 1 名）

議 題：

- (1) 平成 28 年度事業報告・決算報告・監査報告について
- (2) 平成 29 年度役員館等の選出(案) について
- (3) 平成 29 年度事業計画(案) 及び予算(案) について

報告事項：

- (1) 各館の当面する諸問題について
- (2) その他

2. 研修事業（平成 29 年 1 月～12 月）

- (1) 長崎県公共図書館等協議会との合同研修会

日 時：平成 29 年 8 月 28 日（月）

会 場：長崎県立大学シーボルト校

演題①：法令等の調べ方

講師①：松澤貴弘氏（国立国会図書館調査及び立法考査局議会官庁資料課）

演題②：新しい読書スタイルの提案～さわってみようマルチメディアデイジー

講師②：矢部剛氏（伊藤忠記念財団電子図書普及事業部）

参加者：90 名（大学 10 名，公共等 80 名）

3. Library Lovers' Nagasaki 2017

長崎県大学図書館協議会事業として、Library Lovers' Nagasaki 2017 を開催した。

期 間：10 月 17 日～11 月 13 日

合同企画 参加型ゲーム「英語でチャレンジ！ラリーはどこ！？」（参加校：9 校、参加者：約 800 名 クリア者：320 名）

佐賀県大学図書館協議会活動報告

平成 29 年度佐賀県大学図書館協議会総会

日 時：平成 29 年 7 月 27 日（木）

会 場：佐賀女子短期大学 4 号館 1 階 411 教室

出席者：5 館 8 名

議 事

1. 協議事項

- (1) 平成 28 年度決算報告について
- (2) 平成 29 年度予算(案) について
- (3) 平成 29 年度補助金申請について
- (4) 平成 30 年度幹事館および監査館の選出について

2. 報告事項

- (1) 各大学図書館の活動状況について
- (2) 平成 28 年度補助金活用の報告
- (3) 佐賀県読書推進運動協議会・総会の報告について

3. 承合事項

- (1) 学生・教員の本の延滞について

大分県大学図書館協議会

【平成 29 年度総会】

日 時：平成 29 年 9 月 14 日（木）13:30～15:30

当番館：大分大学

会 場：大分大学学術情報拠点（図書館）

出席者：6 館 13 名

協議事項

- (1) 平成 28 年度事業報告について
- (2) 平成 28 年度決算報告及び監査報告について
- (3) 平成 29 年度事業計画（案）について
- (4) 平成 29 年度予算（案）について
- (5) 平成 30 年度役員館（案）及び当番館（案）について
- (6) 大分県大学図書館間相互利用実施要項改正について

報告事項

- (1) 大分大学横断検索システムについて

情報交換

○リポジトリの研究成果物収集の取り組み状況について

講演

演 題：科学の目が見た「関さば」のおいしさの秘密

講 師：望月聡氏（大分大学教育学部教授・副学長）

【平成 28 年度研修会】

日 時：平成 29 年 2 月 28 日（火）14:00～16:00

場 所：日本文理大学センター 5 階

演 題：「大学図書館の抱える諸問題」

講 師：石川賀一氏（別府大学文学部 講師）

参加者：7 館 14 名

福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会

【研究会】

日 時：平成 29 年 9 月 14 日（木）13:30～16:30

会 場：北九州工業高等専門学校
管理棟 2 階会議室

出席者：13 館 21 名

議 事

- (1) 平成 28 年度決算報告及び監査報告について
- (2) 平成 29 年度予算（案）について
- (3) 平成 29 年度表彰者について
- (4) 協議事項
 - 1) 北部地区研究会会費徴収における柔軟性を持たせるための内規改正について
 - 2) 職員表彰関係の廃止について
- (5) 承合事項
 - 1) 図書館システムについて
 - 2) 雑誌の製本について

(6) その他

1) 平成 30 年度福岡県・佐賀県図書館協議会の理事館・監事館の選出について

理事館：産業医科大学

監事館：折尾愛真短期大学

講 演・ワークショップ

演 題：「平成 28 年 4 月障害者差別解消の施行等を踏まえて～発達障害学生の理解と支援について」

講 師：福岡教育大学・大学院教育学研究科

教授 納富恵子氏

当番館の確認・選出

平成 30 年度

北九州市立大学

近畿大学産業理工学部

平成 31 年度

福岡県立大学

西日本工業大学

沖縄県大学図書館協議会

【平成 29 年度】

出席者：15 名

1. 平成 29 年度（第 45 回）総会

日 時：平成 29 年 9 月 19 日（火）14:00～14:40

会 場：沖縄科学技術大学院大学

センター棟 C 階 セミナー室 C210

出席者：37 名

議 題：平成 28 年度事業報告

平成 28 年度決算報告

平成 28 年度監査報告

平成 29 年度事業計画（案）

平成 29 年度予算（案）

平成 30 年度の当番館及び平成 29 年度の
監査館の選出

(3) 平成 29 年度沖縄県大学図書館協議会研修会

日 時：平成 29 年 12 月 12 日（火）13:00～17:00

会 場：琉球大学附属図書館 本館 1 階

ライブラリーホール

テーマ：資料保存セミナー

講 師：岡本 幸治氏（製本家・書籍修復家）

出席者：32 名

(4) 平成 29 年度沖縄県大学図書館協議会
第 2 回研修会

日 時：平成 29 年 12 月 15 日（金）14:00～17:00

会 場：琉球大学附属図書館 本館 2 階

ラーニングコモンズパソコンエリア

テーマ：デジタルアーカイブ（IIIF の動向）

講 師：永崎 研宣氏（一般財団法人 人文情報学
研究所 主席研究員）

出席者：40 名

2. 講演会・研修会

(1) 平成 29 年度第 1 回沖縄県大学図書館協議会
講演会

日 時：平成 29 年 9 月 19 日（火）14:45～15:45

会 場：沖縄科学技術大学院大学

センター棟 C 階 セミナー室 C210

テーマ：インターネットの歴史とこれから

講 師：森田 洋平氏（沖縄科学技術大学院大学
准副学長 [広報担当]）

出席者：39 名

(2) 平成 29 年度沖縄県大学図書館協議会管理・
運営に関する懇談会

日 時：平成 29 年 9 月 19 日（火）13:00～13:30

会 場：沖縄科学技術大学院大学

センター棟レストラン（B フロアー）

プライベートルーム

【平成 28 年度】

(1) 平成 28 年度沖縄県大学図書館協議会管理・
運営に関する懇談会

日 時：平成 29 年 2 月 21 日（火）14:00～14:30

会 場：琉球大学附属図書館 館長室

（本館 1 階）

出席者：9 名

(2) 平成 28 年度沖縄県大学図書館協議会研究会

日 時：平成 29 年 2 月 21 日（火）14:40～17:00

会 場：琉球大学附属図書館 本館 1 階
ライブラリーホール

テーマ：

①事例発表：他県の大学図書館間連携について

発表者：山本 和雄氏（琉球大学図書館事務部長）
岡田 高志（琉球大学図書館情報サービス課長）

②各館の業務に関する情報交換

出席者：30 名

宮崎県大学図書館協議会

1 平成 29 年度宮崎県大学図書館協議会総会

日 時：平成 29 年 9 月 19 日（火）14:30～16:15

場 所：宮崎県立看護大学附属図書館（教育研究棟 2 階多目的ホール）

出席者：8 大学 19 名、公共図書館 2 名

議 事：

（1）平成 28 年度 決算報告及び監査報告について

（2）平成 29 年度 事業計画及び予算について

（3）協議事項

①地域学習ポータル構築及び運用について

②県内大学図書館と公共図書館の連携について

③研修会講師への謝金支払事務について

（4）承合事項：

①「宮崎県大学図書館協議会と宮崎県公共図書館連絡協議会における図書館資料の現物貸借要領」に基づく実績について、各館の状況を伺いたい。

②図書館の危機管理について

③除籍資料の扱いについて

④時間外の雇用について

⑤図書購入予算削減の対応策（取組）について

⑥個人情報記載されている図書資料の扱いについて

⑦雑誌の購入状況について

（5）次年度役員館について

2 平成 29 年度宮崎県大学図書館協議会職員等研修会

日 時：平成 30 年 1 月 18 日（木）14:00～16:00

場 所：宮崎大学附属図書館 3 階 視聴覚室

出席者：13 名

テーマ：「パスファインダーによる利用者支援」

講師・発表者等：阿萬 祐典氏（宮崎大学）、寸田 五郎氏（宮崎大学）、佐山 実希氏（宮崎公立大）

平成 29 年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日 時：平成 29 年 11 月 10 日（金）13:30～15:00

会 場：九州大学附属図書館会議室（新館 4 階）

出席者：10 大学 11 名

テーマ：

1. 図書館が直面している課題について

2. その他

平成 29 年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日 時：平成 29 年 11 月 10 日（金）13:30～15:00

会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール
（新館 4 階）

出席者：11 大学 16 名

議 事：

・報 告

1. 平成 29 年度九州地区国立大学図書館協会
実務者連絡会議報告
2. 平成 29 年度九州地区目録講習会実施報告
3. その他
・九州地区国立大学間連携事業教育系・文系
論文集の JAIRO Cloud 利用について

・平成 29 年度九州地区国立大学図書館協会
研修会について

・協議題

1. 平成 30 年度九州地区国立大学法人等職員
採用事務系（図書）二次専門試験について
2. 大学図書館における自己収入確保の方策に
ついて
3. その他
・オープンアクセス・オープンデータ・IR
への対応・電子ジャーナル・学生用図書費

平成 29 年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議

日 時：平成 29 年 11 月 10 日（金）15:30～17:00

会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール
（新館 4 階）

出席者：11 大学 28 名

議 事：

・報 告

1. 館長懇談会報告
2. 事務（部・課）長会議報告
3. 国立大学図書館協会秋季理事会報告

4. その他

・協議題

1. 九州地区国立大学図書館協会総会当番校
及び九州地区大学図書館協議会役員館の
選出について
2. その他
・「国立大学図書館協会ビジョン 2020」への
各大学の対応

平成 29 年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 福岡地区研究会記録

日 時：平成 29 年 11 月 10 日（金）13:30～16:30
（受付 13:00～）

会 場：中村学園大学 2 号館 9 階 会議室 2905

出席者：13 館 23 名

テーマ：大学におけるこれからの電子図書館につ
いて

当番館：福岡女子大学学術情報センター（図書館）
筑紫女学園大学附属図書館
中村学園大学図書館

1. 講演

・大学図書館における電子書籍・電子図書館導入の最新事例

紀伊國屋書店 電子書籍営業部

部長 今井 太郎氏

(3) 資料のメディア変換（媒体変換）について

(提案大学：福岡女学院大学)

(4) 学術雑誌除籍について

(提案大学：九州産業大学)

2. 承合事項

(1) 電子書籍の登録と管理について

(提案大学：福岡工業大学)

(2) 電子書籍の選書方法や管理・運用について

(提案大学：福岡女学院大学)

3. その他

・平成 30 年度福岡地区研究会当番大学紹介

※閉会后、中村学園大学図書館見学

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会

2017（平成 29）年度 第 2 回定例幹事会

1. 日時：2017（平成 29）年 12 月 1 日（金）

14：00～16：00

2. 会場：鹿児島国際大学附属図書館

1 階 会議室

3. 当番館：鹿児島国際大学

4. 参加者：7 館 12 名

5. 内容：

1) 報告事項

①2017 年度九州地区協議会総会の報告について

②2017 年度九州地区協議会決算報告・研究会の決算(仮)報告について

③理事校経験校への理事校業務一部外部委託・効率化についてのアンケート調査結果報告について

2) 協議事項

①2018 年度九州地区協議会総会の実施計画(案)について

②2018 年度九州地区協議会の年会費について

3) 確認事項

①2018 年度九州地区協議会総会の講演について

②2018 年度九州地区協議会私大学部会の表彰委員館・編集委員館の選出について

③本会関係の次年度以降の役員校・当番校について

4) その他

①西地区部会 2018 年度研究会研究発表者の推薦について

事務局報告

平成29年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

平成29年12月12日(火)に書面回議により開催の結果、「第68回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)」について承認された。

その他について、意見等はなかった。

議題

1. 第68回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)について

今年度当番館 長崎大学附属図書館から第68回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)の提出がありました。(資料1)内容をご確認ください。

2. その他

① 九州地区大学図書館協議会総会における講演、協議事項等について

ご意見等がございましたらお知らせください。

なお、協議事項等は、別途第69回総会当番館(鹿屋体育大学)から照会します。

② 副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により次の順番で執り行われておりますので、平成30年度につきましても、副幹事館のうちのいずれかの図書館長にお願いいたします。

<参考>

平成11年度(公立大学部会副幹事館長)

福岡女子大学

平成12年度(私立大学部会副幹事館長)

鹿児島国際大学

平成13年度(私立短大部会副幹事館長)

沖縄キリスト教短期大学

平成14年度(国立大学部会副幹事館長)

福岡教育大学

平成15年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎公立大学

平成16年度(私立大学部会副幹事館長)

筑紫女学園大学・短期大学

平成17年度(私立大学部会副幹事館長)

九州東海大学

平成18年度(国立大学部会副幹事館長)

長崎大学

平成19年度(国立大学部会副幹事館長)

熊本大学

平成20年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎県立看護大学

平成21年度(私立大学部会副幹事館長)

九州産業大学

平成22年度(国立大学部会副幹事館長)

大分大学

平成23年度(私立大学部会副幹事館長)

熊本学園大学

平成24年度(公立大学部会副幹事館長)

長崎県立大学

平成25年度(私立大学部会副幹事館長)

久留米大学

平成26年度(公立大学部会副幹事館長)

鹿児島県立短期大学

平成27年度(私立大学部会副幹事館長)

沖縄国際大学

平成28年度(私立短大部会副幹事館長)

鹿児島純心女子短期大学

平成29年度(公立大学部会副幹事館長)

九州歯科大学

③ 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

副幹事館は任期が2年間（H29～H30年度）のため選出不要です。

また、表彰委員館、編集委員館の任期は1年間（再任は妨げない。）ですので、各部会で当番館の検討を併せてお願いします。

第 68 回九州地区大学図書館協議会総会記録

日 程 表

1. 期 日 平成 29 年 4 月 20 日 (木)
2. 会 場 ホテルセントヒル長崎 2階 妙見
〒850-0052 長崎市筑後町 4-10
TEL 095-822-2251 FAX 095-826-4732
<http://www.kouritu-nagasaki.jp/sainthill/>
3. 日 程 9 : 3 0 受付開始
10 : 0 0 1. 開会
2. 当番館長挨拶
3. 幹事館長挨拶
4. 会議日程・配布資料等の説明
5. 議長、副議長の選出
6. 議長、副議長の挨拶
7. 新任館長等紹介
8. 表彰式
9. 幹事館報告
10. 平成 28 年度決算及び監査報告
11. 平成 29 年度予算 (案)
12. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告

12 : 0 0 昼食
13 : 0 0 13. 講演
講師：吉田 文彦 (長崎大学・教授)
演題：「歴史の謎に挑む楽しみ～核と黒船をつな
ぐ点と線～」
14 : 4 5 14. 協議事項
九州地区の図書館職員研修の共催等について
15. 承合事項
15 : 3 0 16. 次期役員館の選出
17. 次期当番館の挨拶
18. 議長、副議長の解任
16 : 0 0 19. 閉会

出席者名簿（○は新任者）

【国立大学】

九州工業大学附属図書館

附属図書館長 恵 良 秀 則
図書館・情報推進課長 岩 村 哲 也

福岡教育大学学術情報センター図書館

学術情報センター長 池 田 修
学術情報課長 栗 林 陸 生

九州大学附属図書館

附属図書館長 宮 本 一 夫
附属図書館副館長 富 浦 洋 一
事務部長 木 村 優
図書館企画課長 ○瓜 生 照 久
図書館企画課長補佐 藤 川 眞 一
伊都地区図書課企画運営係長
別 府 妙 子

佐賀大学附属図書館

附属図書館長 米 山 博 志
学術研究協力部長 市 山 郁 生
情報図書館課長 ○大 瀧 礼 二

長崎大学附属図書館

附属図書館長 中 田 英 昭
医学分館長 由 井 克 之
学術情報部長 ○満 本 眞 一
学術情報管理課長 近 藤 廣 任

熊本大学附属図書館

附属図書館長 ○高 宮 正 之
教育研究支援部長 中 村 武
図書館課長 ○高 木 貞 治

大分大学学術情報拠点(図書館)

研究・社会連携部長 安 倍 武 司
学術情報課長 ○黒 柳 裕 子

宮崎大学附属図書館

附属図書館長 兒 玉 修
事務長 小 川 稔

鹿児島大学附属図書館

情報サービス課長 ○河 野 泰 久

鹿屋体育大学附属図書館

附属図書館長 ○山 田 理 恵
学術図書情報課長 宮 園 礼 子
学術図書情報課副課長 今 村 政 義
学術図書情報課図書サービス係長
山 下 智 久

琉球大学附属図書館

附属図書館長 仲 座 栄 三
事務部長 山 本 和 雄
情報サービス課長 岡 田 高 志

出席館 11館32名

欠席館 なし

【公立大学】

北九州市立大学図書館

図書館係長 鈴 木 吉 美

九州歯科大学附属図書館

館長 牧 憲 司
学務部長 ○桑 野 主 税

北九州学術研究都市学術情報センター

学術情報担当課長 竹 下 誠 次
学術情報担当主任 森 田 亜希子

福岡女子大学学術情報センター

図書館事務 大 瀧 麻 耶

福岡県立大学附属図書館

学務部長 田中 和 樹
図書館事務 喜 多 恵

宮崎公立大学附属図書館

企画総務課長 ○梅 村 千恵子
司書 峯 朗 子

長崎県立大学附属図書館

佐世保校図書館長 石 田 和 彦
佐世保校図書館課長 ○佐 藤 荒 樹
佐世保校図書グループリーダー
豊 村 正 博
シーボルト校図書館長 武 藤 慶 子
シーボルト校図書館課長 川 原 光 次
シーボルト校図書グループリーダー
○森 美 彦

宮崎県立看護大学附属図書館

館長 浅 野 昌 充
副主幹 赤 江 貢 一

鹿児島県立短期大学附属図書館

館長 岡 村 俊 彦

沖縄県立看護大学附属図書館

館長 ○佐 伯 宣 久

熊本県立大学学術情報メディアセンター図書館

事務長 安 達 直 昭

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館

館長 ○小 西 潤 子

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

館長 河 上 央
企画情報課長 三 好 民 郎

名桜大学附属図書館

課長 赤 嶺 達 也

大分県立看護科学大学附属図書館

司書 白 川 裕 子

出席館 15館 26名

欠席館 なし

【私立大学】

西日本工業大学図書館

図書館長 大 木 正 彦

九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館

図書情報課副主幹 築 地 恵 子

西南女学院大学図書館

図書課長 西 川 忍

福岡工業大学附属図書館

館長 ○三 田 肇
図書館事務長 中 島 良 二

九州国際大学図書館

図書館長 伊 東 美 津
図書館事務室長 増 田 恵次郎
主任 仙 波 憲 子

福岡女学院大学図書館

図書館長 ○岩 下 伸 朗
図書館課長 吉 村 球 夫

九州共立大学附属図書館

図書情報課副主幹 上 井 由美子

九州産業大学図書館

館長 渡 邊 雄 二
部長 徳 永 讓 二

室長	宮 丸 由美子	長崎純心大学早坂記念図書館 事務室長	岩 崎 由希子
福岡大学図書館 図書部事務部長 学術情報課長	井 口 紀 子 ○河 村 正 徳	長崎ウエスレヤン大学附属図書館 司書	天 野 みゆき
西南学院大学図書館 図書情報課部長 図書情報課長	○大 羽 康 二 吉 田 進	長崎国際大学図書館 館長 課長 課員	山 本 経 之 飯 島 芳 典 福 田 恵美子
純真学園大学図書館 主任	山 本 哲 也	崇城大学図書館 図書館長 図書課長	○原 島 俊 高 吉 夕 香
九州情報大学附属図書館 図書館長	○丹 羽 崇 之	九州ルーテル学院大学図書館 課長	坂 本 美 樹
久留米工業大学学術情報センター 学術情報センター長	高 橋 雅 仁	熊本学園大学付属図書館 図書館長 図書情報課長	○林 裕 石 川 知 子
久留米大学附属図書館 図書館長 課長	○高 栢 真 一 岸 川 弘 子	東海大学付属図書館熊本図書館・阿蘇図書館 副主事 主査	福 田 則 勝 古 場 哲 也
国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館 図書館長	○原 富 英	熊本保健科学大学附属図書館 司書 司書	山 崎 栄 子 重 美樹子
西九州大学附属図書館 図書館長	○溝 田 勝 彦	九州看護福祉大学附属図書館 図書館長 図書課長 図書係長 事務職員	山 本 恵 子 山 崎 貴 士 福 本 直 子 松 崎 成 美
活水女子大学図書館 図書課長代理	奥 村 治 輝	日本文理大学図書館 主任	渡 辺 ひろえ
長崎総合科学大学附属図書館 図書課長	山 川 邦 子	別府大学附属図書館	
長崎外国語大学教育研究メディアセンター 教育研究メディアセンター長 マルチメディアライブラリー事務室長補佐 別 所 佐和子	マラ クラウディア		

図書館事務部次長 吉岡義信

九州保健福祉大学附属図書館

課長 ○伊藤倫子

南九州大学・南九州短期大学図書館

図書館長 隈元正行

鹿児島国際大学附属図書館

事務室長 濱田照美

書記 上原愛

鹿児島純心女子大学附属図書館

図書館長 三間晶生

図書館課長 岩永眞佐子

志学館大学図書館

図書館長 ○近藤諭

主任・司書 荻迫香

沖縄国際大学図書館

図書館課長 金城智子

図書館課長補佐 ○中山かつら

図書館課長補佐 照屋幸伸

沖縄科学技術大学院大学図書館

アシスタントマネージャー 上原藤子

出席館 37館 61名

欠席館 10館

【私立短期大学】

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館

図書館長 ○喜多大三

司書 八野梓

鹿児島女子短期大学附属図書館

図書館長 ○住澤知之

課長代理 濱田みゆき

福岡女子短期大学図書館

図書館情報課長 大橋祐子

鹿児島純心女子短期大学図書館

図書館長 三島盛武

図書館課長 西眞知子

出席館 4館 7名

欠席館 なし

第68回九州地区大学図書館協議総会議事要録

1. 開会

当番館の長崎大学 近藤学術情報管理課長から開会宣言があった。

2. 幹事館長挨拶

幹事館である九州大学附属図書館 宮本館長から挨拶があった。

3. 当番館長挨拶

当番館である長崎大学附属図書館 中田館長から挨拶があった。

4. 会議日程・配布資料の説明

近藤課長から配布資料および会議日程について説明があった。

5. 議長の選出、挨拶

「九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則」第2項に基づき、当番館長である長崎大学附属図書館の中田館長が選出され、続いて挨拶があった。

6. 副議長の選出

議長から、副幹事館である九州歯科大学附属図書館の牧館長が副議長として指名され、承認された。続いて挨拶があった。

7. 新任館長等紹介

議長から、資料1の出席者名簿に基づき、新任館長等の紹介があった。

8. 表彰式

資料2のとおり、「九州地区大学図書館協議会表彰規程」に基づき、7名が表彰された。被表彰者を代表して、九州大学附属図書館の別府妙子氏へ表彰状が授与された。

(1) 勤務期間20年以上の者で退職または転職した者（表彰規定第2条第2号）

(所属機関、氏名の50音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第2号	鹿児島大学附属図書館	うえはら ゆみ子 上原 ゆみ子
2	〃	九州大学附属図書館	くはら あけみ 久原 明美
3	〃	九州大学附属図書館	わだ ますみ 和田 眞澄

(2) 勤務期間20年に達した者（表彰規定第2条第1号）

(所属機関、氏名の50音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第1号	大分大学学術情報拠点	や と ゆり 矢戸 百合
2	〃	九州大学附属図書館	べつ ふ たえこ 別府 妙子
3	〃	宮崎大学附属図書館	すん でん ごろう 寸田 五郎
4	〃	琉球大学附属図書館	てる や ひとみ 照屋 ひとみ

9. 幹事館報告

幹事館の九州大学附属図書館 瓜生図書館企画課長より、以下の3点について報告があった。

1) 加盟館数について

平成28年度は新規加盟館は無く、私立大学部会の福岡国際大学・福岡女子短期大学、短期大学部会の東九州短期大学の退会により、私立大学部会は1減となったが、福岡女子短期大学が短期大学部会に移行という形で残留することになったため、短期大学部会は変動無しとなった。よって、平成29年4月1日現在の加盟館は、国立11館、公立15館、私立47館、私立短大4館の合計77館である。

2) 九州地区大学図書館協議会誌について

平成29年2月に「九州地区大学図書館協議会誌第59号」を刊行し、加盟館に発送済みである。福岡女子大学の向井教授による巻頭言のほか、寄稿論文、九州大学および琉球大学の図書館リニューアル等の紹介、加盟館ニュース、Library Lovers' キャンペーンの国立大学図書館協会賞受賞の報告記事などが寄せられ、充実した協議会誌となった。

3) 目録講習会及び電子書籍に関する講演会について

国立大学部会では、目録講習会を本年8月または9月に琉球大学にて開催することを計画している。また10月以降には、電子書籍の購読および利用促進に関わる講演会あるいはワークショップの開催を予定しており、現在準備を進めている。

10. 平成28年度決算及び監査報告

幹事館から、資料3の決算案に基づき報告があった。積立金会計の支出の部の表彰経費について、備考欄の表彰者数に誤りがあり、正しくは1号該当者7名、2号該当者6名の計13名であること（今年度の表彰者数7名を誤って記載）、また決算額については、73,375円で誤りがないことが説明された。続いて、監査館である福岡教育大学から、監査の結果、通帳・出納

簿ともに適切な会計処理が行われているとの報告があり、審議の結果、承認された。

11. 平成29年度予算（案）

幹事館から、資料4の予算案に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

12. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告

(1) 国立大学部会報告

長崎大学から、資料5-1に基づき、九州地区国立大学図書館協会総会の報告があった。

1) 国立大学図書館協会から依頼のあった、第64回国立大学図書館協会総会の研究集会のテーマ候補に関して意見交換を行った結果、昨年の熊本地震の体験を踏まえて、災害に対する図書館機能の維持、またそれに備えるためのアーカイブ構築について内容をまとめ、九州地区からの提案とすることとした。

2) その他の協議事項については、提案どおり了承された。

(2) 公立大学部会報告

長崎県立大学から、資料5-2に基づき、九州地区大学図書館協議会公立大学部会の報告があった。

1) 協議事項：図書館を核とした、または、教務部門等と協働した学生の学習（修）支援について施設設備や図書館ガイダンス等の文献検索のフォローアップ、資格取得のためのコーナー整備など、各大学から寄せられた効果的な事例をもとに協議を行った。

2) 承合事項：3件

下記事項について、熱心かつ率直な意見交換が行われ、今後の各館運営に大変有意義な協議会となった。

- ・ 事故本の対応について
- ・ 図書館内の住み分けについて

- ・ 国立国会図書館の「図書館デジタル化資料送信サービス」への加入について
- ・ 図書館開放等地域貢献活動の評価について
- ・ 図書館職員（司書）の研修について

(3) 私立大学部会報告

九州看護福祉大学から、資料5-3に基づき、私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会の報告があった。

議事内容は、報告事項、協議事項、承合事項、確認事項であった。

協議事項(1)②2017年度以降の九州地区協議会役員校等ローテーション表及び解説改正(案)については、重要な案件であり、より深く検討する必要があるため、引き続き幹事会にて審議していくことで承認された。

議事終了後、沖縄国際大学総合文化学部の山口真也教授に、「大学生はなぜ本を探せないのか？探さないのか？—司書課程教員の立場から大学図書館教育に関わって見えてきたこと—」というテーマで講演していただいた。

(4) 私立短期大学部会報告

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学から、資料5-4に基づき、九州地区私立短期大学図書館協議会総会等の報告があった。

1)総会では、平成28年度事業報告、平成28年度決算報告及び監査報告、平成29年度事業計画(案)及び予算書(案)、平成29年度の役員館について審議され、承認された。

2)研修会では、長崎外国語大学特任教授の姫野順一氏に「将来の図書館とは」というテーマで講演していただいた。

3)承合事項3件については、各館からの意見をもとに、活発な議論が行われた。なお、佐賀女子短期大学から、九州私立大学短期大学協議会の名簿の簡略化について意見があり、

来年度の承合事項として提案することで、了承された。

13. 協議事項

協議題「九州地区の図書館職員研修の共催等について」

1) 九州地区目録講習会について

提案大学の九州大学より、平成28年度は、従来の目録システム講習会をベースに、九州地区国立大学図書館協会主催で開催(開催地：九州大学)したが、集合研修による目録システム講習会は、国公私立大学・短期大学問わず、すべての大学図書館からのニーズが高いため、平成29年度以降は九州地区大学図書館協議会と共催で行いたいとの提案があり、異議なく了承された。

なお、経費の補助についても協議会にて協議していきたい旨の説明があり、各部会に持ち帰って意見を調整してもらい、来年度以降の総会であらためて提案する予定であることが説明され、承認された。

2) フレッシュパーソンセミナーについて

九州大学より、提案理由について説明があり、フレッシュパーソンセミナーは、広く国公私立大学・短期大学の大学図書館の新人職員の研修の場となっているため、今後九州地区で開催(2年に1回、中国・四国地区と九州地区が交互に開催。次回の九州地区開催は平成31年度)するセミナーについて、九州地区大学図書館協議会と共催で行いたいとの提案があり、異議なく了承された。

なお、セミナーに関わる経費についても、補助をお願いしたい旨説明があったが、詳細が未定であり、現時点では具体的な金額の提示もできないため、今後本協議会で協議していくことが提案され、異議なく承認された。

(昼食)

14. 講演

長崎大学の近藤学術情報管理課長から講師紹介があったのち、吉田教授による講演が行われた。

演題 「歴史の謎に挑む楽しみ～核と黒船をつなぐ点と線」

講師 長崎大学核兵器廃絶研究センター
吉田 文彦教授

15. 承合事項

承合事項1～2について、各館に持ち帰り、今後の参考としていただくこととなった。

- ・承合事項1「図書館主催の自由参加型イベントについて、どのような広報をしているか」(提案大学：長崎大学)
- ・承合事項2「雑誌の貸出について」(提案大学：長崎大学)

16. 次期役員館の選出

副議長から、「九州地区大学図書館協議会会則」第6条に基づき、幹事館及び副幹事館の選出について説明があり、議長および副議長の推薦により、引き続き九州大学が幹事館として選出された。次に、副幹事館については、昨日の各部会での検討の結果、琉球大学、大分県立看護科学大学、九州国際大学、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学が推薦され、承認された。

幹事館の九州大学より、監査館は幹事館に近い、福岡市内の大学が適しているため、福岡女子大学にお願いして内諾を得ている旨の説明があり、承認された。

幹事館の九州大学より、昨日の各部会での検討の結果、表彰委員館は、九州工業大学、長崎県立大学、西日本工業大学、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学が推薦され、編集委員館は鹿屋体育大学、福岡県立大学、九州情報大学、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学が推薦され、承認された。

幹事館の九州大学より、次期当番館は、南部地区から選出することになっており、平成30年度は鹿屋体育大学へ打診し内諾を得ている旨説明があり、承認された。

17. 次期当番館の挨拶

次期当番館の鹿屋体育大学附属図書館の山田館長より、挨拶があった。

18. 議長、副議長の解任

予定していた議事が全て終了したため、議長、副議長が解任された。

19. 閉会

当番館の長崎大学近藤学術情報管理課長より、閉会宣言があった

平成28年度決算

一般会計

(単位：円)

科目	収入の部			支出の部			
	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
会費	468,000	468,000	6,000×78館	総会運営費	300,000	300,000	当番館：九州大学
協議会誌代	118,400	118,400	58号：148部	協議会誌発行費	216,000	216,000	59号 (2016) 200部
広告掲載料	240,000	130,000	7社	事務費	20,000	15,685	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	180,000	180,000	10社 H27年度分	積立金会計へ繰入	470,400	364,715	総会講演会謝金・研修事業補助
小計	1,006,400	896,400		小計	1,006,400	896,400	

積立金会計

(単位：円)

科目	収入の部			支出の部			
	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	126,770	126,770		表彰経費	85,000	73,375	13名 (1号該当7名、2号該当6名)
預金利息	100		8月13日6円、2月11日2円	研修会経費	50,000	50,000	総会講演謝金等
一般会計から繰入	470,400	364,715		研修会補助費	180,000	179,500	各県協議会 (9地区) 研修経費補助
				次年度繰越金	282,270	188,618	
小計	597,270	491,493		小計	597,270	491,493	

平成29年3月29日会計監査実施済

監査館 福岡教育大学学術情報センター図書館



課長 栗林 陸生

平成29年度予算

一般会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
会費	462,000	@6,000×77館 (東九州短期大学退会)	総会運営費	300,000	当番館：長崎大学
協議会誌代	117,600	59号 (2016) @800円×147部	協議会誌発行費	216,000	60号 (2017) 200部
広告掲載料	250,000	15社	事務費	20,000	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	120,000	8社 28年度分	積立金会計へ繰入	413,600	総会講演会謝金・各県協議会研修事業補助
小計	949,600		小計	949,600	

積立金会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
前年度繰越金	188,618		表彰経費	75,000	平成28年度実績
預金利息	10		研修会経費	50,000	総会講演会謝金等
一般会計から繰入	413,600		研修会補助費	180,000	各県協議会研修経費補助 (9地区×20,000円)
			次年度繰越金	297,228	
小計	602,228		小計	602,228	

九州地区大学図書館協議会会則

昭和25年11月27日施行
昭和32年9月12日改正
昭和41年6月2日改正
昭和51年4月23日改正
昭和55年5月9日改正
平成9年4月25日改正
平成10年4月24日改正
平成20年4月18日改正

(名 称)

第1条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第2条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第3条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第5条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第6条 幹事館は、総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学の各分会からそれぞれ1館を総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は1年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならぬ。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定
昭和 37 年 10 月 2 日改正
昭和 48 年 5 月 11 日改正
昭和 53 年 5 月 12 日改正
平成 11 年 4 月 23 日改正
平成 26 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に会員のための研修会を行うものとする。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区	福岡県
中部地区	長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区	鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和 32 年 9 月 1 日施行
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会 会員の紹介書（別記様式 1）により、入会申込書（別記様式 2）を、総会の 3 ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
 - (1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
 - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

別記様式 1

九州地区大学図書館協議会入会紹介書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 図 書 館 名：
4. 図 書 館 長 名：
5. 所 在 地：

別記様式 2

九州地区大学図書館協議会入会申込書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

貴協議会の趣旨に賛同し、平成 年度からの入会を申し込みます。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 大 学 設 置 年：
4. 学 生 数：
5. 図 書 館 名：
6. 所 在 地：
(電話、FAX 番号)
7. 図 書 館 長 名：
8. 図 書 館 の 概 要：(別紙)
9. 紹 介 館 名：

別紙

図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号)		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m ²	閲覧座席数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施 2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施 2 一部実施 3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉仕対象教職員数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施 2 未実施	
	文献複写	1 実施 2 未実施	
学外者へのサービス	1 実施 2 未実施		
コンピュータの導入	1 導入済 2 未導入		
コンピュータの適用業務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネットワーク環境	1 学内 LAN 接続済 2 インターネット接続済		
国立情報学研究所との接続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成 2 年 4 月 20 日施行

平成 5 年 4 月 23 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記 2-(1)の編集委員館を兼ねることができる。
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。
(4) 編集委員館の任期は 1 年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第 1 条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第 2 条 表彰は、次の各号の 1 に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間 20 年に達した者
- (2) 勤務期間 20 年以上の者で退職または転職した者
- (3) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第 3 条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第 2 条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第 4 条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号および第2号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

文書番号

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

平成 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

表彰者調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
表彰の区分	第2条第1号 第2条第2号 第2条第3号				
勤務成績					
第7条第2項第2号該当の有無 有 ・ 無					
履 歴 事 項					
年 月 日	勤 務 内 容 等	勤 務 期 間			
		加盟館での勤務期間	その他の図書館等 での勤務期間		
～		年 月 日	年 月 日		
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
計					
		合 計 年 月 日			

- 注 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とすること。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第3号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式（1）第2条第1号および第2号該当者

表 彰 状

殿

あなたは 年のがい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

表彰状様式（2）第2条第3号該当者

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定
平成7年9月 1日改正
平成8年4月24日改正
平成9年4月25日改正
平成10年4月25日改正
平成15年4月25日改正
平成24年4月20日改正
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して2万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

別 紙

経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

平成 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

幹事館 殿

組織名
代表者
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 平成 年 月 日 () 時 分 至 平成 年 月 日 () 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講 師 謝 金 _____ イ. 資 料 代 金 _____ ウ. 会 場 借 上 費 _____ エ. そ の 他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

* 研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

副幹事館の役割

平成 10 年 8 月 31 日
幹事館・副幹事館会議

- 1 通常時
 1. 年度の事業・活動についての立案・協議
 2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
 3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
 4. ホームページ充実のための提言案、意見具申
- 2 会誌発行時
各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが
・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等
- 3 総会時
 1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
 2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
 3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認
- 4 その他
別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成 10 年 8 月 31 日
平成 20 年 1 月 30 日改正
幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。
(URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>)
2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。
 - ・トピックス&NEWS
加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成
総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成
 - ・役員館一覧 事務局が作成
 - ・当番館一覧 事務局が作成
 - ・九州地区大学図書館協議会誌
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
 - ・地区内の図書館活動
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
 - ・各種関連資料集 事務局が作成
 - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
 - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
 - ・フォーラムページ
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。
- 事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

H30.01.01 現在

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
国 立	九州工業大学 附属図書館 (館長 恵良秀則, 図書館・情報推進課長 岩村哲也)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町1の1	093-884-3071 (093-884-3075)
	福岡教育大学 学術情報センター図書館 (センター長 池田 修, 学術情報課長 栗林陸生)	811-4192	宗像市赤間文教町1番5号	0940-35-1268 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 宮本一夫, 事務部長 木村 優)	812-8581	福岡市東区箱崎6丁目10の1	092-642-2325 (092-642-2330)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 米山博志, 学術研究協力部長 市山郁生)	840-8502	佐賀市本庄町1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 田井村明博, 学術情報部長 満本眞一)	852-8521	長崎市文教町1の14	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 高宮正之, 教育研究支援部長 中村 武)	860-8555	熊本市中央区黒髪2丁目40の1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 古城和敬, 研究・社会連携部長 安部武司)	870-1192	大分市大字旦野原700	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 児玉 修, 事務長 小川 稔)	889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1	0985-58-2879 (0985-58-2896)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 鈴木廣志, 学術情報部長 渡邊俊彦)	890-0065	鹿児島市郡元1丁目21の35	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿屋体育大学 附属図書館 (館長 山田理恵, 学術図書情報課長 宮園礼子)	891-2393	鹿屋市白水町1	0994-46-4874 (0994-46-4157)
	琉球大学 附属図書館 (館長 仲座栄三, 事務部長 山本和雄)	903-0214	中頭郡西原町字千原1番地	098-895-8153 (098-895-8154)
公 立	北九州市立大学 図書館 (館長 中尾泰士, 学術情報課長 江上照明)	802-8577	北九州市小倉南区北方4丁目2の1	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 牧 憲司, 学務部長 桑野主税)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (総務企画部長 甲山乙也, 学術情報担当課長 竹下誠次)	808-0135	北九州市若松区ひびきの1番3号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 学術情報センター(図書館) (館長 太田雅規, 経営管理部長 杵掛裕顕)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1	092-661-2416 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 福田恭介, 学務部長 田中和樹)	825-8585	田川市伊田4395	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 武藤慶子, 佐世保校館長 石田和彦, 佐世保校図書館課長 佐藤荒樹, シーボルト校図書館課長 川原光次)	858-8580	佐世保市川下町123	0956-47-5958 (0956-26-2100)
	熊本県立大学 学術情報メディアセンター図書館 (センター長 村尾治彦, 事務長 安達直昭)	862-8502	熊本市東区月出3丁目1番100号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 河上 央, 企画情報課長 三好民郎)	870-0833	大分市上野丘東1の11	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 藤内美保, 総務グループリーダー 高橋勝三)	870-1201	大分市大字廻栖野2944-9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 福田稔, 事務長 梅村千恵子)	880-8520	宮崎市船塚1丁目1番地2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
	宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 浅野昌充, 総務課長 鬼東良一)	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7756 (0985-59-7773)
鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 岡村俊彦, 副館長 木場純子)	890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目52番1号	099-803-4475 (099-803-4473)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
公立	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 佐伯宣久, 主事 口野美由紀)	902-8513	那覇市与儀1-24-1	098-833-8806 (098-833-5134)
	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 小西潤子, 主査 松堂輝彦)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
	名桜大学 附属図書館 (館長 小川寿美子, 図書課長 赤嶺達也)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-51-1065)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 大木正彦, 事務部長 山崎倫明)	800-0394	福岡県京都郡苅田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南女学院大学 図書館 (館長 南里宏樹, 課長 西川 忍)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州国際大学 図書館 (館長 伊東美津, 事務室長 増田恵次郎)	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 松田正視)	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 松田正視)	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 三田 肇, 事務長 中島良二)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 岩下伸朗, 課長 吉村球夫)	811-1313	福岡市南区日佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 渡邊雄二, 事務部長 徳永譲二)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999)
	福岡大学 図書館 (館長 有岡律子, 事務部長 井口紀子)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 図書館 (館長 古賀範雄, 推進役 高田和則)	814-0198	福岡市城南区別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 古田雅憲, 事務部長 大羽康二)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2の92	092-823-3426 (092-823-3480)
	純真学園大学 図書館 (館長 加藤亮二, 主任 山本哲也)	815-8510	福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号	092-541-1527 (092-541-1542)
	第一薬科大学 図書館 (館長 増田寿伸, 司書 古沢恒平)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-542-9776)
	九州情報大学 附属図書館 (館長 丹羽崇之, 図書館司書 井上理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫女学園大学 附属図書館 (館長 大津忠彦, 課長 徳田 孝)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12の1	092-925-9910 (092-925-3318)
	久留米工業大学 学術情報センター (館長 高橋雅仁, センター室長 小林敬二)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-65-3480 (0942-22-2385)
	聖マリア学院大学 図書館 (館長 日高艶子, 司書 山口真由美)	830-8558	久留米市津福本町422	0942-37-1138 (0942-37-1138)
	久留米大学 附属図書館 (館長 高栢真一, 課長 岸川弘子)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	保健医療経営大学 情報メディアセンター図書館 (センター長 林 勝裕, 図書係 古澤亜紀)	835-0018	みやま市瀬高町高柳960-5	0944-67-7007 (0944-63-3003)
	国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館 (館長 原 富英, 事務主幹 福島正徳)	831-8501	大川市榎津137-1	0944-89-2143 (0944-86-6000)
西九州大学 附属図書館 (館長 溝田勝彦, 課長 中島哲男)	842-8585	神崎市神崎町尾崎4490-9	0952-37-9299 (0952-53-7869)	
活水女子大学 図書館 (館長 黒木 香, 課長代理 奥村治輝)	850-8515	長崎市東山手町1-50	095-820-6028 (095-823-3701)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
私	長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 ブライアン・F・パークガフニ, 図書課長 山川邦子)	851-0193	長崎市網場町536	095-838-5142 (095-838-2072)
	長崎外国語大学 教育研究メディアセンター (センター長 マラ クラウディア, マルチメディアライブラリー事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾3-15-1	095-840-2005 (095-840-2205)
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長ジュリアン パンダービーン, 事務室長 岩崎由希子)	852-8558	長崎市三ツ山町235	095-846-0084 (095-845-4279)
	長崎ウエスレヤン大学 附属図書館 (館長 菅原良子, 司書 植松久子)	854-0082	諫早市西栄田町1212-1	0957-26-8203 (0957-26-0244)
	長崎国際大学 図書館 (館長 山本経之, 図書課長 飯島芳典)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町2825-7	0956-20-5560 (0956-39-4894)
	崇城大学 図書館 (館長 原島 俊, 課長 高吉夕香)	860-0082	熊本市西区池田4丁目22-1	096-326-3419 (096-359-3002)
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 高野美雪, 課長 坂本美樹)	860-8520	熊本市中央区黒髪3丁目12-16	096-343-2494 (096-343-0354)
	熊本学園大学 附属図書館 (館長 林 裕, 図書情報課長 石川知子)	862-8680	熊本市中央区大江2丁目5番1号	096-371-8047 (096-364-5173)
	東海大学 附属図書館 熊本・阿蘇図書館 (館長 村田宮彦(熊本), 森友靖生(阿蘇))	862-8652	熊本市東区渡鹿9-1-1	096-386-2634(熊本) 096-386-2639(阿蘇)
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 飯山準一, 司書 山崎栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町325	096-275-2264 (096-275-2265)
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 山本恵子, 図書課長 山崎貴士)	865-0062	玉名市富尾888	0968-75-1840 (0968-75-1873)
	日本文理大学 図書館 (館長 福島 学, 課長補佐 小平正典)	870-0397	大分市大字一木1727	097-524-2711 (097-593-5166)
	立命館アジア太平洋大学 ライブラリー (総合情報センター長 李 燕, アカデミック・オフィス課長 山下啓祐)	874-8577	別府市十文字原1-1	0977-78-1140 (0977-78-1141)
	別府大学 附属図書館 (館長 仲嶺真信, 事務次長 吉岡義信)	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-9633 (0977-66-9632)
	九州保健福祉大学 附属図書館 (館長 倉内紀子, 課長 伊藤倫子)	882-8508	延岡市吉野町1714-1	0982-23-5562 (0982-23-5560)
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 田代裕子, 課長 政野光弘)	880-0931	宮崎市古城町丸尾100	0985-52-3205 (0985-50-4699)
	南九州大学・南九州短期大学 図書館 (館長 隈元正行, 図書課長 赤木裕美)	880-0032	宮崎市霧島5-1-2	0985-83-3430 (0985-83-3431)
	立 宮崎学園 図書館 (宮崎国際大学・宮崎学園短期大学) (館長 菅 邦男, 図書課長 小橋智子)	889-1605	宮崎市清武町加納丙1415	0985-85-1410 (0985-85-8189)
	鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 小川英司, 図書館事務室長 濱田照美)	891-0197	鹿児島市坂之上8-34-1	099-263-0732 (099-261-1198)
	鹿児島純心女子大学 附属図書館 (館長 三間晶生, 図書課長 岩永眞佐子)	895-0011	薩摩川内市天辰町2365	0996-23-5311 (0996-23-5030)
志学館大学 図書館 (館長 近藤 諭, 主任司書 荻迫 香)	890-8504	鹿児島市紫原一丁目59-1	099-812-8509 (099-257-0308)	
沖縄国際大学 図書館 (館長 比屋定泰治, 課長 金城智子)	901-2701	宜野湾市宜野湾2丁目6番1号	098-892-1111 (098-893-3274)	
沖縄大学 図書館 (館長 西 泉, 事務長 糸数 晃)	902-8521	那覇市宇国場555	098-832-5577 (098-834-1127)	
沖縄キリスト教学院 図書館 (館長 内間清晴, 課長 仲間末美)	903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長777	098-946-1236 (098-946-1237)	
沖縄科学技術大学院大学 図書館 (館長 ゴードン・アーバスノット, アシスタント・マネージャー 上原藤子)	904-0495	沖縄県国頭郡恩納村字茶谷1919-1	098-982-3755 (098-966-8817)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
私立 短大	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 喜多大三, 図書課長 小林由憲)	803-8511	北九州市小倉北区下到津5の1の1	093-561-3541 (093-592-6184)
	福岡女子短期大学 図書館 (館長 秋吉 晴彦, 課長 大橋祐子)	818-0193	太宰府市五条4丁目16-1	092-922-3604 (092-922-3596)
	鹿児島女子短期大学 附属図書館 (館長 住澤知之, 課長 南谷 久)	890-8565	鹿児島市高麗町6-9	099-254-9195 (099-254-5914)
	鹿児島純心女子短期大学 図書館 (館長 三島盛武, 課長 西 真知子)	890-8525	鹿児島市唐湊4丁目22の1	099-253-2677 (099-254-5247)

九州地区大学図書館協議会役員館一覽

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和48年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	
昭和49年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和50年度 (26)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和51年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	
昭和52年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南学院大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和53年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和54年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和55年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南学院大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和56年度 (32)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和57年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和58年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和59年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和60年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和61年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和62年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年次 (回数)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和63年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 八幡大学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短期大学 西南学院大学	佐賀大学 熊本女子大学 中村学園大学	
平成2年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大学 熊本商科大学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大学 福岡大学 福岡女子短期大学
平成3年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大学 久留米大学	鹿児島大学 長崎県立大学 西日本工業大学	九州大学 鹿屋体育大学 九州歯科大学 中村学園大学 筑紫女学園短期大学
平成4年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大学 鹿児島経済大学	大分大学 九州歯科大学 活水女子大学	九州大学 福岡教育大学 北九州大学 九州国際大学 東筑紫短期大学
平成5年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大学 活水女子大学	大分医科大学 鹿児島県立短期大学 鹿児島経済大学	九州大学 熊本大学 福岡女子大学 西南学院大学 筑紫女学園短期大学
平成6年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大学 活水女子大学	佐賀医科大学 宮崎公立大学 鹿児島経済大学	九州大学 宮崎大学 福岡県立大学 九州産業大学 筑紫女学園短期大学
平成7年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大学	琉球大学 長崎県立大学 南九州大学	九州大学 九州工業大学 九州歯科大学 久留米大学 筑紫女学園短期大学
平成8年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州東海大学	佐賀大学 九州歯科大学 熊本学園大学	九州大学 大分大学 北九州大学 九州共立大学 西南女学院短期大学
平成9年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大学 九州女子大学	宮崎大学 鹿児島県立短期大学 久留米工業大学	九州大学 佐賀大学 九州歯科大学 福岡大学 西南女学院短期大学

年次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成10年度 (49)	九州大学	国 公 私 短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成11年度 (50)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成12年度 (51)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成13年度 (52)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成14年度 (53)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成15年度 (54)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成16年度 (55)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志學館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成17年度 (56)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成18年度 (57)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

年次 (回次)	幹事館	副幹事館	監査館	表彰委員館	編集委員館
平成19年度 (58)	九州大学	国 熊 本 大 学 宮 崎 県 立 看 護 大 学 福 岡 大 学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成20年度 (59)	九州大学	国 熊 本 大 学 宮 崎 県 立 看 護 大 学 福 岡 大 学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡教育大学	宮崎大学 大分県立看護科学大学 別府大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	長崎大学 九州歯科大学 鹿児島国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成21年度 (60)	九州大学	国 大 分 大 学 福 岡 県 立 大 学 九 州 産 業 大 学 私短 九州大谷短期大学	福岡女子大学	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学 鹿児島女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 中九州短期大学
平成22年度 (61)	九州大学	国 大 分 大 学 福 岡 県 立 大 学 私短 九州産業大学 九州大谷短期大学	福岡大学	長崎大学 福岡女子大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 <small>北九州学術研究都市学術情報センター</small> 活水女子大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成23年度 (62)	九州大学	国 宮 崎 大 学 長 崎 県 立 大 学 私短 熊本学園大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡工業大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 福岡女学院大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	佐賀大学 福岡県立大学 九州国際大学 九州大谷短期大学
平成24年度 (63)	九州大学	国 宮 崎 大 学 長 崎 県 立 大 学 私短 熊本学園大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	筑紫女学園大学・短期大学	大分大学 沖縄県立看護大学 九州東海大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡女子大学 沖縄国際大学 鹿児島女子短期大学
平成25年度 (64)	九州大学	国 鹿 児 島 大 学 私短 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学	西南学院大学	鹿屋体育大学 北九州市立大学 九州共立大学 鹿児島純心女子短期大学	宮崎大学 九州歯科大学 聖マリア学院大学 鹿児島純心女子短期大学
平成26年度 (65)	九州大学	国 鹿 児 島 大 学 私短 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学	九州産業大学	熊本大学 熊本県立大学 九州保健福祉大学 東九州短期大学	大分大学 北九州市立大学 西九州大学 東九州短期大学
平成27年度 (66)	九州大学	国 鹿 屋 体 育 大 学 私短 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子短期大学	中村学園大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 九州情報大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	熊本大学 北九州学術研究都市学術情報センター 西日本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成28年度 (67)	九州大学	国 鹿 屋 体 育 大 学 私短 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡教育大学	佐賀大学 北九州学術研究都市学術情報センター 長崎総合科学大学 鹿児島女子短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 沖縄キリスト教学院大学 鹿児島女子短期大学
平成29年度 (68)	九州大学	国 琉 球 大 学 私短 大分県立看護科学大学 九州国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡女子大学	九州工業大学 長崎県立大学 西日本工業大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	鹿屋体育大学 福岡県立大学 九州情報大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成30年度 (69)		国 公 私 短			

九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大 学
1	25	福岡	九州大学
2	26	熊本	熊本大学
3	27	長崎	長崎大学
4	28	佐賀	佐賀大学
5	29	鹿児島	鹿児島大学
6	30	宮崎	宮崎大学
7	31	大分	大分大学
8	32	福岡	西南学院大学
9	33	福岡	九州大学
10	34	熊本	熊本大学
11	35	福岡	九州工業大学
12	36	長崎	長崎大学
13	37	福岡	福岡大学
14	38	佐賀	佐賀大学
15	39	福岡	福岡教育大学
16	40	宮崎	宮崎大学
17	41	福岡	八幡大学
18	42	鹿児島	鹿児島大学
19	43	福岡	九州大学
20	44	熊本	熊本商科大学
21	45	福岡	久留米大学
22	46	大分	大分大学
23	47	福岡	北九州大学
24	48	長崎	長崎大学
25	49	福岡	九州産業大学
26	50	佐賀	佐賀大学
		〃	佐賀龍谷短期大学
27	51	沖縄	琉球大学
28	52	福岡	九州大学
29	53	大分	大分大学
30	54	宮崎	宮崎大学
31	55	福岡	九州歯科大学
		〃	福岡女子大学
		〃	福岡県社会保険短期大学
32	56	熊本	熊本女子大学
33	57	鹿児島	鹿児島大学
		〃	鹿児島県立短期大学
		〃	鹿児島経済大学

回次	年度	県別	大 学
34	58	福岡	西日本工業大学
35	59	長崎	長崎大学
36	60	宮崎	宮崎医科大学
		大分	大分県立芸術短期大学
		宮崎	南九州大学
		長崎	純心女子短期大学
37	61	福岡	九州芸術工科大学
38	62	佐賀	佐賀医科大学
39	63	沖縄	琉球大学
40	平成元	福岡	北九州大学
41	2	大分	大分医科大学
42	3	鹿児島	鹿屋体育大学
43	4	福岡	西南学院大学
44	5	熊本	九州東海大学
45	6	宮崎	宮崎産業経営大学
46	7	福岡	九州工業大学
47	8	長崎	長崎大学
48	9	鹿児島	鹿児島経済大学
49	10	福岡	福岡女子大学
50	11	佐賀	佐賀大学
51	12	沖縄	沖縄国際大学
52	13	福岡	九州女子大学
53	14	大分	大分大学
54	15	宮崎	宮崎大学
55	16	福岡	福岡教育大学
56	17	熊本	熊本大学
57	18	鹿児島	鹿屋体育大学
58	19	福岡	九州大学
59	20	長崎	長崎大学
60	21	沖縄	琉球大学
61	22	福岡	福岡県立大学
		〃	九州歯科大学
		〃	北九州学術研究都市(学術情報センター)
62	23	佐賀	佐賀大学
63	24	鹿児島	鹿児島大学
64	25	福岡	福岡教育大学
65	26	大分	大分大学学術情報拠点
66	27	宮崎	宮崎大学

回次	年度	県別	大 学
67	28	福 岡	九 州 大 学
68	29	長 崎	長 崎 大 学
69	30	鹿 児 島	鹿 屋 体 育 大 学
70	31		

ディスプレイブックカート



伊藤伊の新商品は 現場の声から生まれた形

文庫本・ライトノベル・コミック等
小さめの本をコンパクトに多収納。

両面書架の側面やカウンターの横など少
ないスペースでしっかり収納展示します。

棚板の奥行を文庫サイズにしていますの
で、一番下の本までしっかり見えます。

ディスプレイブックカート (見出し付)

7629 W440×D410×H1100

¥38,000 (税抜き)

アクリル見出しサイズ W297×H105

ストッパー付Φ50 キャスター

耐荷重 1棚 10kg 全体 40kg



ブラック



ホワイト

2種類のカラーが選びいただけます



展示力

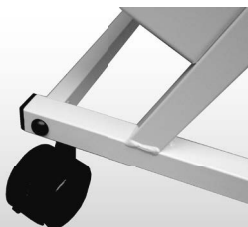
アクリル製見出しが付属で付
いていますので、テーマ展示
や分類に便利です。
下段は傾斜しており低い位置
の本もタイトルが見やすく
なっています。

※ アクリル見出しのみもご注文いただけます。



収納力

文庫本なら1段に約30冊。
4段仕様なので120冊ビッ
シリ入ります。
文庫サイズ～B6判までの小
さめの本をコンパクトに収納
できます。



安心・安全

4カ所すべてのキャスターに
ストッパーが付いており安心
してご利用いただけます。
パーツから組み立てまで完全
国内生産となっています。



こだわりのサイズ

横幅450mmサイズなので、
両面書架の側面にフィット。
高さ1100mmは分類サイ
ン等があっても、隠れにくい高
さになっています。

お取り扱い店

九州・山口地区

L・キスト

〒814-0162

福岡県福岡市早良区星の原団地 20-403

TEL 092-863-0128 FAX 092-863-0127

E-mail l.kist@indigo.plala.or.jp

URL <http://www.l-kist.com>



図書館用品専門店

株式会社 伊藤伊

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-10

TEL 03-5689-6230 FAX 03-5689-6232

<http://www.itin.jp> E-mail info@itin.jp

伊藤伊

検索

アイデアを生み出す多彩なしつらえで
アクティブラーニングを加速する。

ITOKI

明日の「働く」を、デザインする。
We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.



見渡しやすい低めのテーブル高さ

天板上の情報が俯瞰しやすい620mmのテーブル高さ。低めのテーブルを囲んでの作業は、チームの一体感につながります。



ホワイトボード天板

座ったまま書けるため、アイデアの共有がしやすく、グループ全員で活発なアイデア出しが行えます。



しっかりした個人作業天板

個人作業はチェアの手板で行います。A3サイズで天板強度があり、荷物が落ちにくいエッジ形状で安心して作業に取り組みます。

SCRUM

スクラムシリーズ

「アクティブラーニング」を実現する教育施設用家具シリーズ。
グループワークには一体感を演出し、レクチャー・演習・プレゼンなどの
講義スタイルにもフレキシブルに、スピーディーに対応します。



チェア 天板付タイプ



チェア 天板なしタイプ

株式会社イトーキ

福岡支店 福岡市博多区上呉服町10-10 〒812-0036 Telephone 092 281-4061 お客様相談センター ☎0120-164177 URL <https://www.itoki.jp/>

NALIS

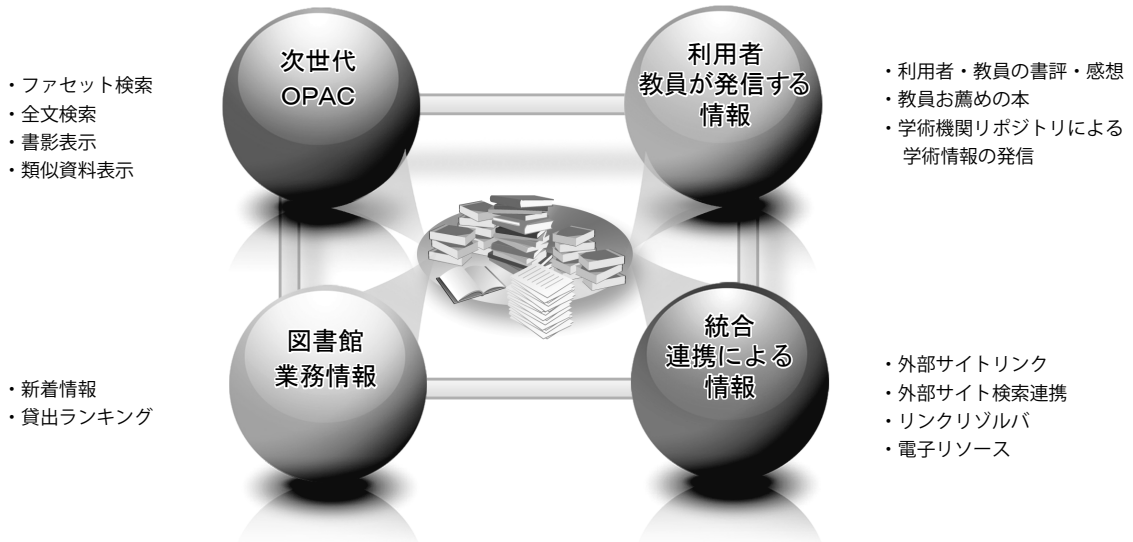
NTT DATA
Global IT Innovator

図書館の全業務をカバーする
「図書館情報システム」
規模や運用に応じて、
柔軟かつ拡張性に優れた構成が可能です。

利用者の資料入手を強力にサポート



NALISは『次世代OPAC』、『利用者・教員が発信する情報』、『図書館業務情報』、『統合・連携による情報』の4つを柱として利用者を強力にサポートします。



お問い合わせ・ご相談は下記までどうぞ

株式会社 NTT データ九州

法人・ソフトウェア事業部 ソフトウェアビジネス部 文教営業担当

Tel : 092-475-5145 Fax: 092-475-5152

HP: www.nttdata-kyushu.co.jp

Scopus®

世界最大級の抄録・引用文献データベース

Scopus (スコパス) は、全分野 (科学・技術・医学・社会科学・人文科学) を網羅する、世界最大級の抄録・引用文献データベースです。世界 5,000 以上の出版社の逐次刊行物 22,000 タイトル、会議録 90,000 イベント、書籍 140,000 タイトルを収録しています。

● 検索結果の内訳表示・絞り込み

出版年、発表論文数の多い著者名、ジャーナル、著者所属機関などのさまざまな観点で絞り込んだり、トレンドをグラフ表示したりできます。被引用数で並べ替えることも簡単です。

The screenshot shows the Scopus search results interface. At the top, it displays '5,093 件の検索結果' (5,093 search results). Below this, there are filters for '検索結果の絞り込み' (Refine search results) and '項目を選択して絞り込み' (Select items to refine). A table lists search results with columns for '文献タイトル' (Document title), '著者名' (Author name), '出版年' (Year), '出版数' (Number of publications), and '被引用数' (Citations). Two articles are highlighted: 'Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors' by Takahashi, K., Yamanaka, S. (2006) and 'Induction of Pluripotent Stem Cells from Adult Human Fibroblasts by Defined Factors' by Takahashi, K., Tanabe, K., et al. (2007). Below the table, there are two graphs: '検索結果の分析' (Search results analysis) showing a line graph of citation trends and '被引用数の分析' (Citation analysis) showing a bar chart of citation counts by author.

● 詳細な論文評価指標

抄録+参考文献ページでは、単純な被引用数に加えて、分野を補正した被引用数のインパクトやベンチマーキングを確認できます。その他、PlumX によって、Mendeley への保存回数、ニュースやソーシャルメディアからの言及回数など、被引用数以外の論文評価指標を確認することもできます。

The screenshot shows the article page for 'Cell'. The article title is 'Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors' by Takahashi, K., Yamanaka, S. The article is from 'Cell', Volume 127, Issue 4, August 2006, Pages 603-613. The page displays several key metrics: '11813 Scopusの被引用数' (11813 Scopus citations), '96.91 Field-Weighted Citation Impact' (96.91 Field-Weighted Citation Impact), and '99パーセンタイル' (99th Percentile). It also shows 'PlumX論文評価指標' (PlumX article evaluation indicators) for '利用、キャプチャ、言及、ソーシャルメディア、Scopus以外の被引用数' (Usage, capture, mention, social media, citations outside Scopus).

The screenshot shows the author profile for Shinya Yamanaka. The profile includes his name 'Yamanaka, Shinya', affiliation 'Kyoto University, Center for iPS Cell Research and Application', and contact information. It also displays a list of his publications, such as 'Induced pluripotent stem cell technology: A decade of progress' (2007) and 'BMP-6/SMAD-1D promotes reprogramming to pluripotency by inhibiting p107/Klf4-dependent senescence' (2006). A graph shows his citation trends over time.

The screenshot shows the journal page for 'Cell'. It displays the journal's ISSN (0092-8674), E-ISSN (1097-4172), and subject categories (Biochemistry, Genetics and Molecular Biology). Key metrics include 'CiteScore 2015 23.62', 'CiteScore ランク 42082 回', and 'CiteScoreTracker 2016 22.71'. It also shows the journal's history and a list of recent articles.

● 高精度の著者プロフィール

高度なアルゴリズムを使用した、同名同名を区別する名寄せ機能を備えています。著者プロフィールで、特定の著者の論文リスト、共著者、h-index などを確認できます。

● 論文評価指標 CiteScore (サイトスコア)

2016年12月に、Scopusのデータに基づいた新しいジャーナル評価指標 CiteScore がリリースされました。あるジャーナルに出版された論文が特定の年に平均で何回引用されたかを示します。



エルゼビア・ジャパン株式会社

© 2017 Elsevier B.V. all rights reserved

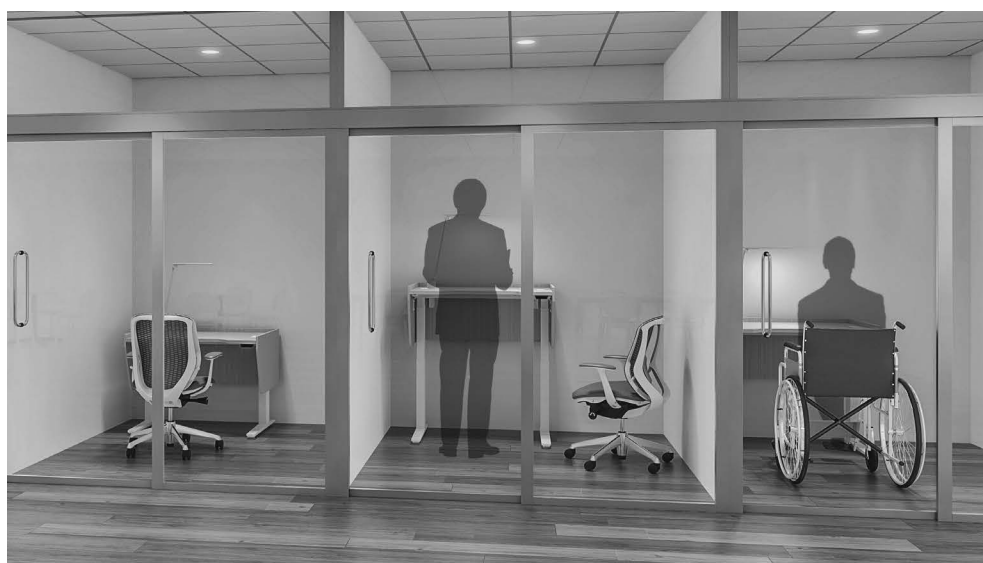
リサーチソリューションズ
106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15 東麻布 1 丁目ビル 4 階
TEL: 03-5561-5034 jp.pr@elsevier.com
http://www.elsevier.com/jp

2017年10月

okamura

Akkord [アコルト] 電動昇降閲覧テーブル

自分に合った高さに天板が調整可能な閲覧テーブル



高さ調整
車イスの高さに合わせて使いやすい高さに天板を上下昇降することが可能です。天板裏のスイッチで680～1100Hの範囲で調整できます。
(680～800Hまでは低速で動きます。)

株式会社 岡村製作所 西日本支社 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-3 tel:092-482-8822 fax:092-482-8812

お問い合わせ・ご相談は【お客様相談室】へ…

ダイヤル ☎ **0120-81-9060** 受付時間／9:00～17:20(土・日・祝日を除く)

<http://www.okamura.co.jp/>

よい品は結局おトクです

オカムラ

環境保全



収蔵庫内装



保存設備



公開設備



免震台・免震床



収納家具・什器・
絵画ラック



収納資料管理システム
デジタルミュージアム

安心と先進で社会文化に貢献する

金剛株式会社

www.kongo-corp.co.jp

熊本本社 / 熊本市西区上熊本3丁目8-1

福岡支店 / 福岡市東区名島3丁目2-10

支店・営業所 / 仙台・東京・静岡・名古屋・金沢・大阪・岡山・広島・高松・北九州・福岡
大分・佐賀・長崎・熊本・八代・天草・宮崎・鹿児島・沖縄・台湾

TEL (096)355-1111 (代)

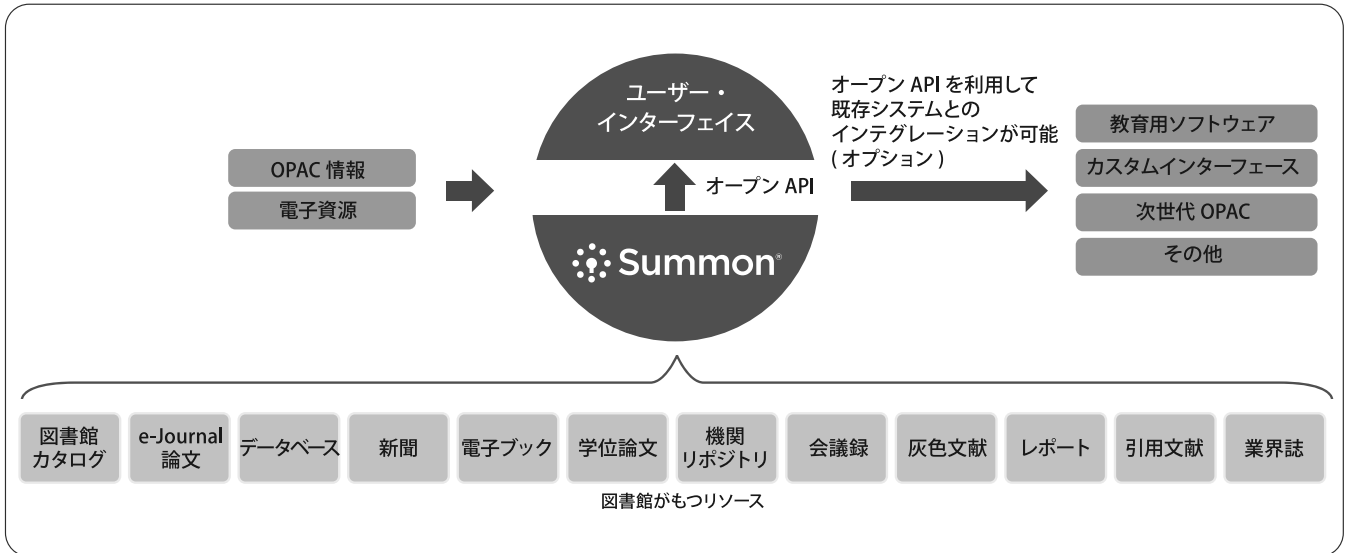
TEL (092)681-6286



これまで見つけることが困難だった資料でも たった1つの検索窓から瞬時に見つけられます！

Summon は統合検索や次世代 OPAC を越える全く新しい検索サービスです。シンプルなインターフェイスから図書館独自の広範囲で信頼性の高い情報へすばやくアクセスすることができます。

図書館の所蔵資料や契約データベース・電子ジャーナル、機関リポジトリ、オープンアクセス誌といった図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせる手法でこれまでにない検索スピードを実現しました。



POINT 1

すべてのリソースを一度に検索

すべてのリソースをたったひとつの検索窓から見つけることができます。現在のインターネットユーザーのニーズを満たす新しい学術情報の検索スタイルを提供します。

POINT 2

信頼のおけるコンテンツだけを検索

検索対象はすべて図書館のコンテンツです。信頼性が高く、しかも入手可能なコンテンツにのみアクセスすることができます。

POINT 3

瞬時に検索結果を表示

図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせるので、Google などの検索スピードを実現します。



図書館システムと連携して 所蔵・貸出情報を リアルタイムで表示

冊子の検索結果には現在の貸出し状況や保管場所が表示されます。検索結果をクリックすると図書館 OPAC のライブリンクになっています。

availability: 貸出中, 中央図書館所蔵

SaaS 型サービスなので 導入・メンテナンスの 手間がかかりません

Software as a Service(SaaS) で提供されるため、サーバーの設置やアップデート、メンテナンスといった作業に人員を割く必要はありません。常に最新で最適な状態でサービスを利用することが出来ます。

目的の資料への確にナビゲートします

ファセット機能によりフォーマット、主題、出版年などによる絞り込み検索を効率的に実行できます。また、360Link などのリンクリゾルバと連携して該当の資料に確実にたどり着くことができます。

360 LINK

2018年の学術情報ソリューションセミナーの 日程が決まりました スケジュールに入れておいて下さい！



大阪会場

2018年 **6月26日(火)**
阪急うめだホール

東京会場

2018年 **6月29日(金)**
日本橋三井ホール

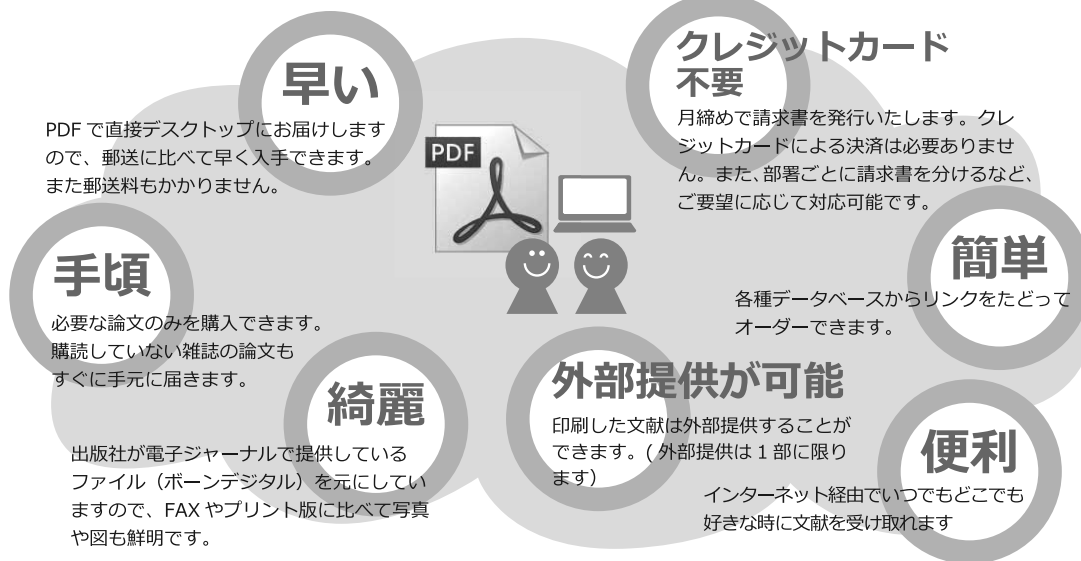
※その他の会場につきましては、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします

セミナーに関するご要望・お問い合わせはこちらまで ▶▶▶ event@sunmedia.co.jp

ARTICLE DIRECT

欲しい文献をPDFで すみやかに入手できます！

Article Direct は、出版社から許諾を得た論文をPDFファイルでデスクトップに直接お届けするサービスです。郵送に比べてお届けまでの時間が短縮されるので急に文献が必要になった時などに大変便利にご利用いただけます。



対象雑誌は約3万誌以上！

Bentham Science、BMJ、Elsevier、KARGER、Royal Society、SAGE Publications、Springer Nature、Taylor & Francis、Thieme、Wileyなどの海外学術出版者が発行する学術誌や、Ingenta Connectに収録されている学術誌、PierOnlineに収録されている国内学術誌など約3万誌以上を対象としています。

利用価格： 文献価格は雑誌によって異なります。ARROWの雑誌情報画面にてご確認くださいことが出来ます。



図書館ソリューション営業部プロフィール

図書館を取り巻く環境が大きく様変わりするなか、ナカバヤシはソフト・ハードの両面から、図書館の持つ可能性を最大限に生かすためのご提案を続けます。

製本

創業以来の豊富なノウハウと高い技術力で、さまざまな製本に小ロットから大量発注まで柔軟に対応します。

- 雑誌合冊製本
- 論文製本
- 新聞製本
- カルテ製本
- 簡易製本
- 図書修理製本
- 貴重書・古書修理製本
- 行政文書製本
- 和綴じ製本
- 帙・四方帙作製

資料保存

資料の劣化・保存状況、目的・ご要望に合わせて適切な保存処置・環境の整備をご提案しています。

- 中性紙保存箱の作製
- 脱酸性化処理
- 裏打ち・すきはめ
- 軸装・額装の再仕立て
- エンキャプスレーション
- 環境調査・書籍クリーニング・燻蒸

図書館サービス

図書館のパートナーとして、業務の効率化、図書館サービス・利用者満足度の向上に取り組みます。

- 雑誌受入整理・遡及入力
- 製本準備・受入
- 図書受入整理・遡及入力
- 装備
- 閲覧・カウンター業務
- 蔵書点検
- 書籍移動・配架シミュレーション
- 指定管理

デジタル・ソリューション

コンテンツづくりから公開・運用まで、情報資産の保存・有効活用をサポートしています。

- 画像データ作成
- テキストデータ入力
- 閲覧・公開システム・ホームページの構築
- 機関リポジトリサービス
- 電子書籍の制作

図書館システム・サブライ

運用に欠かせないシステム・アイテムを数多く取り揃えています。

- 図書館システム
- 自動貸出装置
- 無断持出し防止装置
- 磁気テープ
- RFIDシステム
- 什器・図書館用品
- ラベル・カード作成
- オンデマンド印刷

カラー・コード・ソリューション

カラー・コード（カメレオンコード）を活用した、効果的・効率的な新しい蔵書管理ソリューションをご提案しています。

- N-CLASS** Nakabayashi Chameleoncode Library Assist Solution Service

ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 TEL:03-3558-1251 FAX:03-3558-1260
 大阪支社 〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23 TEL:06-6930-6668 FAX:06-6935-2667
 名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 TEL:052-661-3771 FAX:052-661-3775
 福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699
 札幌営業所 TEL:011-531-1006 仙台営業所 TEL:022-284-3045 横浜営業所 TEL:045-279-7884
 広島営業所 TEL:082-536-0250 高松出張所 TEL:087-831-5825

HP:<http://www.nakabayashi.co.jp/> E-MAIL:toshokan@nakabayashi.co.jp





《キノッピー》 Kinoppy



紀伊國屋書店ウェブストアで
電子書籍を1度だけ買う ▶

再購入なしで
多様な端末
で読める！

ウェブストア <http://www.kinokuniya.co.jp>

プロダクトサイト <http://k-kinoppo.jp/>

九州営業部 福岡営業所 TEL: 092-437-5353
福岡市博多区博多駅南一丁目3番11号 KDX 博多南ビル6階



ジュンク堂書店

淳久堂書店

お店で選書ツアーができます

各階専門書・地下一階に1万5000冊の洋書売場も充実！
B1～4階フロア・140万冊の店舗で選書が可能です(要予約)

丸善ジュンク堂書店 外商部 福岡営業所

お問い合わせ先 E-mail fk-gai@junkudo.co.jp
福岡市中央区天神 1-10-13 天神 MMT ビル
電話・092-738-3405 FAX・092-717-7321

広がります あなたの未来

政府刊行物

探したい本はここで見つかる。
政府刊行物のホームページ
<http://www.gov-book.or.jp/>

政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F) 市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)

TEL(092)721-4846

TEL(092)722-4861

県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)

TEL(092)641-7838

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所

福岡市中央区天神 4-5-17

TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385



空間を美しく演出する
ビブリオ書架

スチールの持つ堅牢性・経済性・機能性に加え、開架スペースに求められるデザイン性やオリジナリティも同時に満たします。

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社/〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2
支店/大阪・名古屋 営業所/札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

お申込み・お問い合わせ

<https://www.nipponfiling.co.jp>

FUKUOKA KAIGAI LIMITED

洋書・洋雑誌・バックナンバー輸入販売



福岡海外株式会社

福岡市中央区天神4-1-18 〒810-0001

Tel: 092-741-2685 Fax: 092-741-8418

e-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp

Maruzen
**eBook
Library**

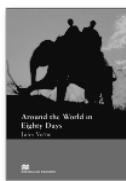
学術情報に特化した電子書籍を提供する
丸善雄松堂オリジナル・プラットフォーム

<https://elib.maruzen.co.jp/>

サクサク
閲覧できる

学術情報に
特化した
eBook

- 学術・研究機関のための学術情報に特化した電子書籍をご提供
- 研究・学習でのご利用に便利な検索・閲覧機能が充実



サービス内容

- ・同時アクセス数による価格設定
- ・初期導入費はや維持費は不要
- ・IPアドレスによる認証
- ・学認・ディスカバリーサービスとの連携
- ・リモート・アクセス機能
- ・便利な検索機能
- ・MARCを無償でご提供
- ・印刷・ダウンロードも可能

学術機関向けの和書 eBook



参考書 英語多読 学生用図書
レファレンス 就活 専門書

ご提供コンテンツ

約 **49,000** タイトル

(2017年11月現在)

好評! 試読サービス

丸善のライブラリアン向け情報サイト

Library Navigator

最新情報をご案内中!
QRコードからご覧頂けます



■お問い合わせ先

MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社【福岡支店】

〒815-0031 福岡県福岡市南区清水2-15-11

<http://yushodo.maruzen.co.jp/>

Media & Documentation Redefinition

情報メディアに新しい価値を。



おかげさまで創業50周年

ホームページ
RENEWAL OPEN

 株式会社 **ミドリ印刷**

www.midori-p.com

本社 | 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目17番12号
(グループ本部) | TEL 092-292-0300 FAX 092-483-9089

営業部 | 〒812-0857 福岡市博多区西月隈1丁目2番11号
(工場部) | TEL 092-441-6747 FAX 092-473-1275



MIDORI GROUP

 川本印刷株式会社

(株)プリンティング福岡

デジタルプリントピーコム・1 / SEJ事業部

九州地区大学図書館協議会誌 第60号

平成30年2月発行

発行 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学附属図書館内
九州地区大学図書館協議会

T E L (092) 642-2324

F A X (092) 642-2330

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>

